



THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

平成30年度 年報十紀要  
2018



佐賀藩10代藩主  
鍋島直正展

原型制作の技にせまる

観覧無料



平成31年  
1月4日金 - 2月9日土

佐賀大学美術館 10:00~17:00 (休館日あり)

主催 佐賀大学美術館

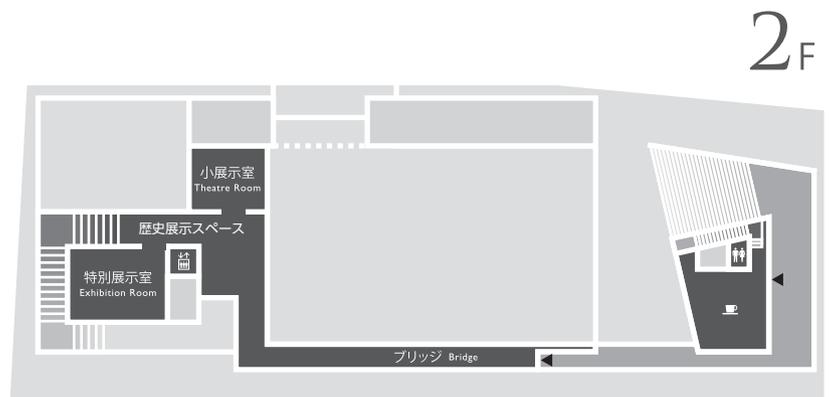
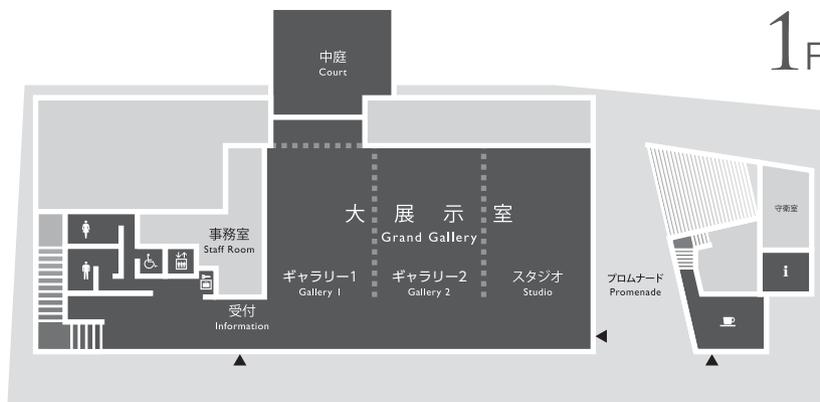
協力 佐賀県立美術館 佐賀県立歴史民俗資料館 佐賀県立文化センター 佐賀大学附属図書館  
佐賀大学芸術文化センター 佐賀大学附属図書館 佐賀大学附属図書館 佐賀大学附属図書館

THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM  
佐賀大学美術館  
SUAM



# 〔館概要〕

名 称	佐賀大学美術館
所 在 地	佐賀市本庄町1番地
基本設計	佐賀大学
実施設計	(株)梓設計九州支社 [協力:(株)ワークヴィジョンズ]
監 理	佐賀大学環境施設部
施 工	建築:金子建設(株) 電気:(株)佐電工 機械:(株)九電工
構 造	鉄骨造・地上2階建
延床面積	1,502㎡
展示面積	462㎡ ギャラリー1 106㎡ ギャラリー2 106㎡ スタジオ 111㎡ 特別展示室 48㎡ 小展示室 34㎡ 歴史展示スペース 57㎡
そ の 他	プロムナード 中庭 ブリッジ
設 備	トイレ 多目的トイレ ロッカー
併 設	カフェ (2018年11月まで)



## 〔沿革〕

- 2011年 1月4日 学長年頭挨拶で美術館設置計画を発表  
6月8日 佐賀大学役員会にて美術館設置諮問委員会からの答申書を報告。  
美術館の設置を審議・了承。同時に3WG（設置募金、利用、建設）についても報告  
12月20日 美術館基本設計建設コンサルタント選定委員会で基本設計コンサルタント選定  
2012年 2月22日 佐賀大学役員会にて基本設計のイメージを説明、募金趣意書の作成を提案・了承  
5月14日 基本設計納入  
12月29日 美術館実施設計終了  
2013年 2月14日 新営工事起工式  
6月26日 美術館規則、美術館運営委員会規定制定  
8月30日 美術館建設工事竣工  
9月28日 佐賀大学統合10周年記念式典・佐賀大学美術館開館記念式典  
10月2日 一般公開開始  
2014年10月24日 入館者5万人達成  
2015年 1月22日 第18回佐賀市景観賞受賞  
2016年 2月19日 入館者10万人達成

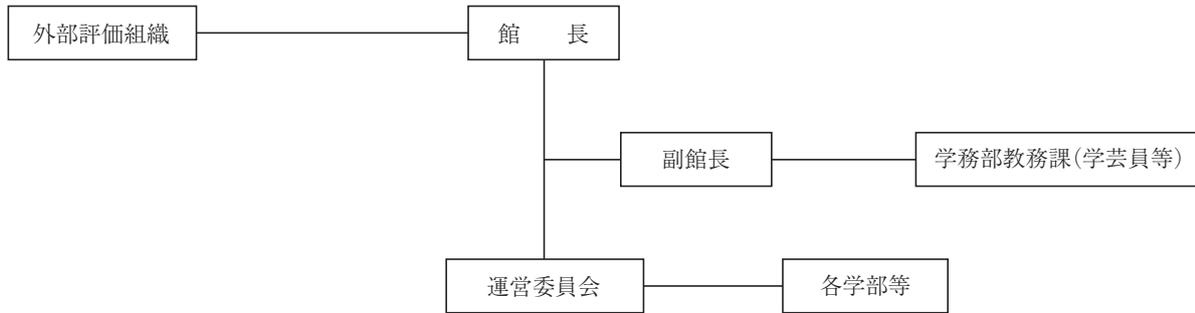
## 〔設立主旨〕

2013年10月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として佐賀大学美術館は誕生しました。美術館と、併せて整備された正門エリアは、「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴するものです。美術館は、総合大学である佐賀大学の魅力を多方面に向けて、より多くの人に知っていただくための情報発信源として活用されています。

## 〔活動目的〕

佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集・保管・展示するとともに、文化芸術の新しい活動や表現を地域の方々とともに作り上げ、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していきます。

# 〔組織図〕



## 〔職員〕

館長	後藤昌昭
副館長	徳安和博
係長	枝國武司
事務員(再雇用)	廣木昭則
事務補佐員(学芸員)	鬼塚美津子
事務補佐員(学芸員)	今村真由美
事務補佐員(学芸員)	出口智佳子

2019年3月31日現在

## 〔運営委員〕

委員長(館長)	理事	後藤昌昭
副委員長(副館長)	教授	徳安和博
委員	准教授	和田学
委員	准教授	花田伸一
委員	准教授	小川哲彦
委員	准教授	室屋和子
委員	教授	後藤聡
委員	准教授	中井信介
委員	学務部長	池尻英一
委員	佐賀大学同窓会長	川副操
委員	教授	荒木博申
委員	財務部長	猿渡毅

2019年3月31日現在

# 目次

## [年報]

- 3 ——— 館概要
- 4 ——— 沿革
- 5 ——— 組織図
- 7 ——— 2018年度の活動
  - 1. 展示記録（主催）
  - 2. 展示記録（企画申請）
  - 3. 実習
  - 4. 刊行・掲載・見学
  - 5. 寄附
  - 6. 職員の館外調査研究・研修等
  - 7. 作品修復・燻蒸
  - 8. 新収蔵作品
  - 9. 入館者一覧表

## [紀要]

- 49 ——— 「コレクションの意義と活用-佐賀大学美術館を事例として」  
出口 智佳子（佐賀大学美術館 学芸員）

## 〔2018年度の活動〕

- 2018年4月13日 「“特美”の芽吹き-初代教員たちの逸品」(～5.13)
- 4月15日 「新収蔵品展-平成29年度寄贈作品による」(～7.8)
- 7月1日 セタイベント「星にねがいを☆」(～8.31)
- 7月13日 「幕末の佐賀と学問-明治維新への道」(～8.10)
- 8月22日 「見えた!? 三重津海軍所・佐賀藩海軍特注磁器の謎」(～9.17)
- 9月23日 「佐賀大学美術の実り」(～10.7)
- 10月17日 「美工 OG 展-平成に咲く四輪」(～12.20)
- 12月2日 クリスマスイベント「サンタとカードと幸せと」(～12.25)
- 2019年1月4日 「佐賀藩10代藩主 鍋島直正展」(～2.9)

# 1. 展示記録（主催）

## “特美”の芽吹き—初代教員たちの逸品

### 《展覧会概要》

開館5年目を迎えた記念展の第一弾として、2013年のオープン以来、当館が収集してきた作品の中から、本学で美術を教えた“特美”初代教員10名の作品を紹介した。本学の前身の一つである佐賀師範学校時代から教鞭をとった石本秀雄、久富邦夫、筒井茂雄、緒方敏雄、城秀男。佐賀大学設置後、“特美”設置にあたり集結した豊田勝秋、藤田隆治、瀧一夫、佐口七朗、岸田勉。

教育面から佐賀の美術・工芸を支えることになる“特美”の芽吹きを彩った逸品を逸話とともに紹介した。

《会期》2018年4月13日（金）～5月13日（日）

《開館日数》27日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学美術館

《展示構成》佐賀大学教育学部特別教科（美術・工芸）教員養成課程における各教室の初代教員の作品。

油彩画、日本画、塑像、染色、磁器、鋳金、デザイン、書籍資料 合計18点

《入館者数》1,558人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、目録

《関連事業》担当学芸員によるギャラリートーク

第1回「佐賀大学の“特美”と教員たち」

日時：4月22日（日）14:00～

第2回「佐賀大学“特美”の成り立ちとそれぞれの初代教員」

日時：5月9日（水）11:00～

### アートウォーク

佐賀大学本庄キャンパス内に点在する“特美”ゆかりの屋外彫刻や、附属図書館に展示されている絵画、佐賀大学の前身となった旧制佐賀高校の名残について、担当学芸員が配布資料とともに紹介した。

日時：5月12日（土）10:30～



チラシ



ギャラリートーク

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	所蔵
1	石本秀雄	トレド	1966	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
2	石本秀雄	画室にて	1951	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
3	筒井茂雄	風景	1939	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
4	久富邦夫	手紙	1941	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
5	久富邦夫	絵のある部屋	1958	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
6	緒方敏雄	夏折々	1984	FRP	佐賀大学美術館
7	城 秀男	妖異な円	1974	染色	佐賀大学美術館
8	藤田隆治	五ひき	1961頃	紙本着色	佐賀大学美術館
9	瀧 一夫	萌黄釉角壺	1967	陶器	佐賀大学美術館
10	瀧 一夫	緑釉壺	-	陶器	佐賀大学美術館
11	豊田勝秋	鋳銅瓶（糸目）	1966	鋳金（銅）	佐賀大学美術館
12	佐口七朗	構成 2	1985	シルクスクリーン、ケント紙	佐賀大学美術館
13	佐口七朗	球体による構成	1986	CG、銀塩ラムダ出力	佐賀大学美術館

## 資料

No.	編集・著者名	資料名	発行年	発行	所蔵
14	岸田 勉	『西部美術』創刊号～第4号	1946-1947	西日本新聞社	佐賀大学美術館
15	岸田 勉	『九州の絵画と陶芸』	1975	平凡社	佐賀大学附属図書館
16	佐口七朗	『デザインの学習 I』	1956	教材社	佐賀大学附属図書館
17	佐口七朗	『うつくしい色彩』	1963	教材社	佐賀大学美術館
18	佐口七朗	『パターンデザイン』	1977	ダヴィッド社	佐賀大学美術館



アートウォーク

## 新収蔵品展—平成29年度寄贈作品による

### 《展覧会概要》

2017年度に寄贈を受けた作品を紹介する展覧会。大正から昭和にかけて旧制佐賀中学で教鞭をとり、教養教育にも尽力した田中宗一の水彩画、本学の金属工芸教室元教授で西欧の鑄造法を学び、彫刻界や鑄造界に大きな影響を与えた中牟田佳彰の鑄銅花器、23年間染色教室で創作と教育に携わり、現在も精力的に制作活動続ける田中嘉生の屏風、3名の作品を紹介した。

《会期》2018年4月15日（日）～7月8日（日）

《開館日数》73日間

《会場》特別展示室

《主催》佐賀大学美術館

《展示構成》水彩画4点、金属工芸5点、書籍1点 合計10点

《入館者数》1,713人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、目録

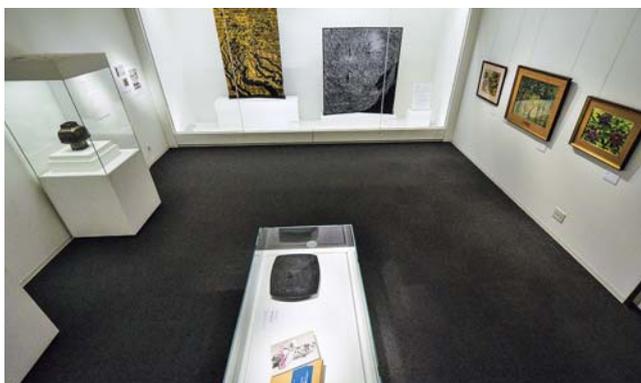
《関連事業》担当学芸員によるギャラリートーク

日時：5月13日（日）15:00～

7月7日（土）15:00～



チラシ



展示風景

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寄贈者
1	田中宗一	熊の川溪谷	1964	紙、水彩	酒井洋子 氏
2	田中宗一	清冽（くじゃくさぼてん）	1966	紙、水彩	酒井洋子 氏
3	田中宗一	牡丹	1969	紙、水彩	酒井洋子 氏
4	田中宗一	紅葉	1970	紙、水彩	酒井洋子 氏
5	中牟田佳彰	鑄銅花器	1976	ブロンズ、蠟型	中牟田澄子 氏
6	中牟田佳彰	縄目鑄銅水盤	1985	ブロンズ、蠟型	中牟田澄子 氏
7	中牟田佳彰	鑄銅花器	1988	ブロンズ、蠟型	中牟田澄子 氏
8	田中嘉生	解ける	1982	染色（蠟染）	田中嘉生 氏
9	田中嘉生	卯月の頃 II	2014	染色（蠟染抜染）	田中嘉生 氏

資料

No.	編集・著者名	資料名	発行年	発行	所蔵
10	中牟田佳彰	『イタリア美術鑄物-ブロンズの工程と技法』	1974	東京美術	佐賀大学美術館



ギャラリートーク

## 幕末の佐賀と学問—明治維新への道

### 《展覧会概要》

明治維新150年に併せ、幕末・明治期に佐賀とその周辺で活躍した志士たちが残した文物を紹介する展覧会。朱子学を修めた古賀精里や古賀侗庵、佐賀と日本の近代化に努めた副島種臣や大木喬任らの書や詩歌、典籍など、市場直次郎コレクションを中心に、佐賀大学が所蔵する貴重資料を展示した。会期中、関連事業として講演会とワークショップを開催した。

《会期》2018年7月13日（金）～8月10日（金）

《開館日数》26日間

《会場》小展示室、特別展示室

《主催》佐賀大学地域学歴史文化研究センター、佐賀大学美術館

《後援》佐賀県、佐賀市、小城市

《展示構成》I. 幕末維新の動乱と学問

II. 幕末の佐賀藩と学問

III. 幕末小城藩の学問—柴田花守と納富介次郎—

《入館者数》1,528人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、目録、図録

《関連事業》講演会「幕末の佐賀と学問」

講師：三ツ松誠（地域学歴史文化研究センター 講師）

「弘道館の学生生活」

吉岡誠也（地域学歴史文化研究センター 研究員）

「幕末佐賀藩の洋学—蘭学寮から致遠館へ—」

日時：7月22日（日）13:30～

会場：教養教育2号館2101講義室

参加：76人

ワークショップ「扇をつくってみよう!—絵つけ体験」

日時：7月29日（日）10:00～

会場：佐賀大学美術館1階

参加：7人



チラシ



展示風景



講演会



ワークショップ

出品リスト

No.	作者名	資料名	年代・時代	形態	
1	斎藤彦磨	狂歌「あめりかの蒸気船を」	1853頃	短冊	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館所）
2	近藤芳樹	富士に鶴図	-	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
3	鈴木重胤	書「有隣」	江戸後期	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
4	六人部是香	和歌「河千鳥」	江戸後期	短冊	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
5	船曳鉄門	和歌「暮春鶯」	-	短冊	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
6	会沢安	『新論』	1825	典籍	小城鍋島文庫（佐賀大学附属図書館）
7	藤田東湖	五言律詩（部分）	1852-1855	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
8	大橋訥庵	五言律詩	江戸後期	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
9	藤本鉄石	柳松山水図	1861	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
10	平野国臣	和歌	江戸後期	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
11	真木和泉	和歌「待花」	江戸後期	短冊	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
12	元田永孚	七言絶句「弔抜刀隊戦死諸兵士」	1881-1886頃	書簡	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
13	三条実美	書「復愛」	-	書	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
14	古賀精里	七言絶句	江戸後期	書	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
15	古賀穀堂	『穀堂遺稿抄一』	1844	典籍	小城鍋島文庫（佐賀大学附属図書館）
16	古賀侗庵	書「緑竹助秋声」	江戸後期	軸	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
17	古賀茶溪	七言絶句「古柏行」（部分）	江戸後期カ	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
18	草場佩川	詩「多少箴」	1846頃-1867	軸	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
19	高島秋帆	七言絶句	江戸後期	扇面	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
20	伝大庭景德	「レイドタラード」序目	江戸後期	典籍	小城鍋島文庫（佐賀大学附属図書館）
21	大庭景德	『民間格致問答』巻之五	1865	典籍	小城鍋島文庫（佐賀大学附属図書館）
22	相良柳逸	「人工体普録」	1868-1869	典籍	小城鍋島文庫（佐賀大学附属図書館）
23	鶴田信義	『仏国行路記』より パリ万博佐賀藩使節団記念写真	1936	写真（書籍）	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
24	副島八十六	『開国五十年史』よりフルベッキ写真	1907	写真（書籍）	佐賀大学附属図書館
25	小車社編	『小車集』	1867	典籍	個人
26	古川松根	和歌「月浮澗水」、「江戸にありける頃 八月ばかりすみだ川なる 百花園の 秋草の花みにまかりて」、「社頭水」	-	短冊	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
27	古川松根	書簡	日付 8月19日	卷子	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
28	古川松根	大黒天図	-	軸	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
29	大木喬任	七言絶句「出塞行」	-	軸	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
30	副島種臣	詩「人之為学」	明治前期	軸	個人
31	岡吉胤	和歌「神歌」	明治前期	軸	個人
32	鍋島直大	和歌	明治期	短冊	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
33	柴田花守	和歌「詠史」	-	書	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
34	柴田花守	楠公像	-	軸	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
35	柴田花守	『画学南北弁』	1882	典籍	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
36	岡吉胤	『松浦の家つと』	1898	典籍	市場直次郎コレクション（佐賀大学附属図書館）
37	西川須賀雄	『拜式のわけ』	1875	典籍	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
38	-	「柴田介次郎上海談聞書」	1862	冊子	小城鍋島文庫（佐賀大学附属図書館）
39	-	『旧約全書・新約全書』	1855、1857	典籍	小城鍋島文庫（佐賀大学附属図書館）

## 見えた!? 三重津海軍所 佐賀藩海軍特注磁器の謎

### 《展覧会概要》

2015年7月より「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録された三重津海軍所跡からは、「灘越蝶文」や「海」銘など、特徴的な文様が施された佐賀藩特注磁器食器が出土している。本展ではその特注磁器について、生産地の謎を解き明かすべく佐賀県立九州シンクロトン光研究センターの先端技術を用いて科学的見地から分析した成果を研究者の考察とともに紹介した。

《会期》2018年8月22日（水）～9月17日（月・祝）

《開館日数》24日間

《会場》小展示室、特別展示室

《主催》佐賀大学美術館

《後援》佐賀県、佐賀市、佐賀市教育委員会

《展示構成》謎 其の一 「三重津海軍所とは?-世界文化遺産として登録されたその価値」

謎 其の二 「灘越蝶文とは?-三重津海軍跡から出土した謎多き磁器たち」

謎 其の三 「どこで作られたの?-謎を照らしたシンクロトン」

謎 其の四 「他に同じような焼き物は?-これから解明すべき謎」

《展示資料》三重津海軍所出土資料 磁器136点、鋳造遺物23点

三重津海軍所解説パネル 13枚

三重津海軍所遺構解説パネル 16枚

三重津海軍所解説映像

※出品資料は、佐賀市教育委員会、北海道江差町より借用

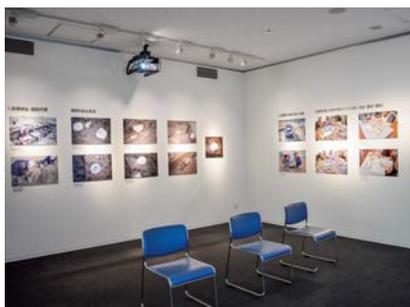
《入館者数》1,248人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、ポスター、小冊子



チラシ



展示風景

## 《関連事業》

### 講演会

科学的見地から特注時期の分析を行っている田端正明氏と、考古学的見地から肥前陶磁器を研究している徳永貞紹氏を講師にお招きし、それぞれの視点から三重津海軍所出土時期について語って頂いた。

講師：田端 正明 氏（佐賀大学名誉教授）

「出土磁器の生産地はどこか？ 科学的に解明する」

徳永 貞紹 氏（佐賀県立九州陶磁文化館 学芸課長）

「三重津海軍所の海を渡る蝶

—佐賀藩の近代化事業と磁器生産—

日時：8月25日（土）13:30～16:30

会場：佐賀大学 教養教育2号館2101教室

参加：35人



講演会

### ギャラリートーク

#### 第1回

講師：徳永 貞紹 氏（佐賀県立九州陶磁文化館 学芸課長）

日時：8月26日（日）13:30～

#### 第2回

講師：中野 充 氏（佐賀市教育委員会 文化振興課主査）

日時：9月9日（日）13:30～



ギャラリートーク

### ワークショップ「描いてみよう灘越蝶紋」

灘越蝶文皿を手本に、有田焼の素焼きの小皿に絵付けを行う体験型ワークショップを行った。

講師：田中 右紀 氏（佐賀大学芸術地域デザイン学部 窯芸教室 教授）

日時：9月2日（日）14:00～15:00

会場：佐賀大学美術館 1階スタジオ

参加：10人



ワークショップ

## 佐賀大学美術の実り

### 《展覧会概要》

開館5年目を迎えた記念展の第2弾として開催。本展覧会では記念展第1弾「“特美”の芽吹き—初代教員たちの逸品—」で紹介した石本秀雄、久富邦夫ら洋画家たちに加え、所蔵品から人物画と風景画を中心に西洋画、版画、彫刻、17点を展示。併せて過去に主催した展覧会も紹介し、これまでの佐賀大学美術館の歩みを振り返った。

《会期》2018年9月23日（日）～10月7日（日）

《開館日数》12日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学美術館

《展示構成》油彩画14点、版画1点、彫刻2点 合計17点

映像 「佐賀大学美術館紹介」、「“特美”の芽吹き—初代教員たちの逸品—」

過去展覧会紹介パネル6枚

《入館者数》841人

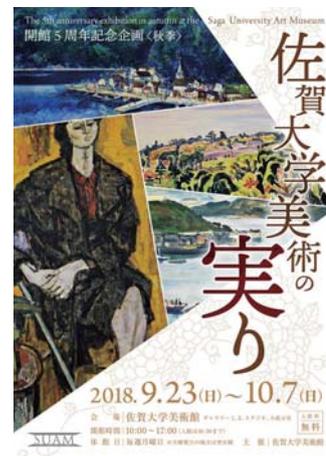
《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、目録

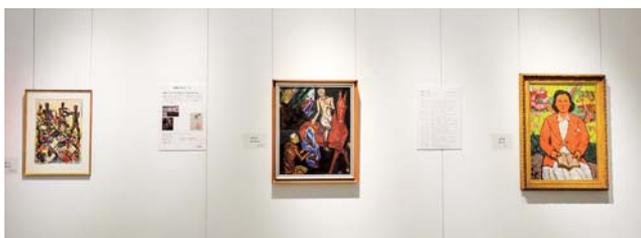
《関連事業》担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月30日（日）14:00～

10月7日（日）14:00～



チラシ



展示風景



ギャラリートーク

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	所蔵
1	古賀忠雄	男の顔	1947-48	ブロンズ	佐賀大学美術館
2	古賀忠雄	男の顔	-	石膏	佐賀大学美術館
3	深草廣平	入り江の教会(天草、崎津風景)	1980	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
4	宮地 亨	壱岐	-	油彩、カンヴァスボード	佐賀大学美術館
5	村岡平蔵	西熱海	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
6	斎藤与里	婦人像	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
7	宮地 亨	燈火小閑	1965	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
8	海老原喜之助	本を焼く人	1956	リトグラフ、紙	佐賀大学美術館
9	村岡平蔵	多摩	1948	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
10	村岡平蔵	夏の日に	1982	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
11	石本秀雄	オーバーの女	1960	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
12	久富邦夫	麦秋	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
13	久富邦夫	祭りの日	1974	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
14	久富邦夫	呼子(初秋)	1956	油彩、カンヴァスボード	佐賀大学美術館
15	上瀧泰嗣	人間失格	1997	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館寄託
16	海老原喜之助	衣を与う	1956	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
17	辻 永	須磨初秋	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館

## 美工 OG 展—平成に咲く四輪

### 《展覧会概要》

佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程の西洋画コースで学んだ4人の作家を取り上げた展覧会。現在活動中の作家、今林明子、牧弘子、仁戸田典子、鶴友那のS30号の作品4点と小品4点を展示した。また、繊細な表現が特徴的な作品を鑑賞するためにオペラグラスの貸出しも行った。

《会期》2018年10月17日（水）～12月20日（木）

《開館日数》56日間

《会場》特別展示室

《主催》佐賀大学美術館

《協力》佐賀大学芸術地域デザイン学部西洋画教室

《展示構成》油彩画7点、水彩画1点 合計8点

《入館者数》3,366人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、目録



チラシ



展示風景

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	所蔵
1	今林明子	真珠の精製 I	2008	油彩、パネル	個人
2	今林明子	Picture of Picture	2018	油彩、白亜地、箔、綿布、パネル	個人
3	牧 弘子	静寂	2014	水彩、アクリル、インク、ペン、コンテ、色鉛筆、紙	個人
4	牧 弘子	マカリーボン	2018	油彩、アクリル、ペン、ジェッツ、シナベニヤ	個人
5	仁戸田典子	人	2013	油彩、パネル	個人
6	仁戸田典子	遠き日の何処か	2018	油彩、白亜地、綿布、パネル	個人
7	鶴 友那	無題	2012	油彩、カンヴァス	個人
8	鶴 友那	磨かれた石と光	2018	油彩、白亜地、綿布、シナベニヤ	個人

## 佐賀藩10代藩主 鍋島直正展

### 《展覧会概要》

2017年3月に佐賀城公園北側に建立された鍋島直正像の銅像建立までの制作過程を、高さ4mを超える銅像原型とともに紹介する展覧会。併せて三重津海軍所や蒸気車など鍋島直正の業績と、側近であった古川松根を中心に同時代に生きた人物も紹介し、直正の人物像を紐解く展覧会をめざした。

《会期》2019年1月4日（金）～2月9日（土）

《開館日数》30日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、特別展示室

《主催》佐賀大学美術館

《協賛》佐賀県

《協力》公益財団法人鍋島報効会徴古館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館、佐賀大学芸術地域デザイン学部、佐賀大学地域学歴史文化研究センター、佐賀大学附属図書館

《後援》佐賀市、佐賀市教育委員会、サガテレビ

《展示構成》第一章 鍋島直正の時代を振り返る

第二章 銅像制作過程

《入館者数》3,283人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、ポスター、小冊子

《関連事業》ギャラリートーク

第1回 講師：徳安 和博 氏（佐賀大学芸術地域デザイン学部教授）

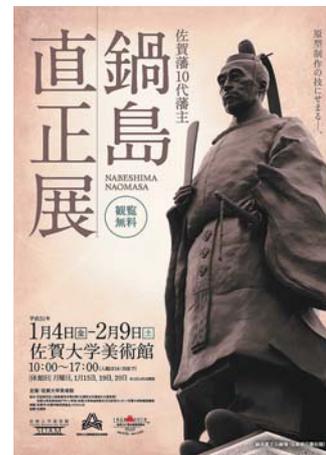
日時：1月5日（土）14:00～

第2回 講師：三ツ松 誠 氏（佐賀大学地域学歴史文化研究センター講師）

日時：1月12日（土）14:00～

第3回 講師：田端 正明 氏（佐賀大学名誉教授）

日時：1月13日（日）14:00～



チラシ



ギャラリートーク

### 講演会+パネルディスカッション

講師:島 善高 氏

(早稲田大学社会科学総合学院教授)

パネリスト:浦川 和也 氏

(佐賀県立佐賀城本丸歴史館企画学芸課長)

富田 紘次 氏

(公益財団法人鍋島報效会徴古館主任学芸員)

司会:伊藤 昭弘 氏

(佐賀大学地域学歴史文化研究センター 准教授)

日時: 1月27日(日) 13:30~15:50

会場:佐賀大学教育学部1号館2階104番教室

参加:84人



講演会・パネルディスカッション

### ワークショップ「粘土と石こうでレリーフを作ろう!」

講師:西村 幸一郎 氏

(佐賀大学芸術地域デザイン学部特任助教)

補佐:和田 奈緒 氏(佐賀大学地域デザイン研究科)

日時: 1月13日(日) 13:00~15:30

会場:佐賀大学芸術地域デザイン学部1号館美術教室

参加:11人



ワークショップ

### アートウォーク

講師:小坂 智子 氏

(佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授)

日時: 1月26日(土) 13:00~

会場:佐賀大学本庄キャンパス



アートウォーク

### 蒸気車模型実走実演

協力:小野 文慈 氏

(佐賀大学教育学部 教授)

日時: 1月5日(土) 15:00~

1月12日(土) 15:00~

1月13日(日) 16:30~

1月26日(土) 15:00~

2月3日(日) 11:00~、15:00~

会場:佐賀大学美術館 1階スタジオ



実走実演

出品リスト

No.	作者・編集者名等	資料名	年代・時代	形態	所蔵
第一章 直正の時代を振り返る					
1	古賀一郎書 北島兵一絵 西村謙三解説	鍋島直正公御実歴一百図（パネル展示）	1933	冊子 （画像パネル）	公益財団法人鍋島報効会 徴古館
2	-	詩「次伊達正宗征南詩韻」（複製）	-	軸	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
3	小車社編	『小車集』	1867	典籍	個人
4	-	画帖	1844	冊子	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
5	古川松根	大黒天図	江戸時代後期～ 明治時代	軸	市場直次郎コレクション （佐賀大学附属図書館）
6	古川松根	西行柳図	江戸時代後期～ 明治時代	軸	市場直次郎コレクション （佐賀大学附属図書館）
7	古川松根	落雁図	江戸時代後期～ 明治時代	軸	市場直次郎コレクション （佐賀大学附属図書館）
8	古川松根	書簡	日付 8月19日	卷子	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
9	古川松根	和歌「月浮澗水」	-	短冊	市場直次郎コレクション （佐賀大学附属図書館）
10	古川松根	和歌「江戸にありける頃八月ばかりすみだ 川なる百花園の秋草の花みにまかりて」	-	短冊	市場直次郎コレクション （佐賀大学附属図書館）
11	古川松根	和歌「社頭水」	-	短冊	市場直次郎コレクション （佐賀大学附属図書館）
12	鍋島閑叟公祝賀協賛会編	『閑叟公御銅像除幕式記念誌』	-	冊子	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
13	武石弘三郎	閑叟公銅像模型	1914	ブロンズ	公益財団法人鍋島報効会 徴古館
14	徳安和博	鍋島直正公銅像雛形	2015	FRP	佐賀県立佐賀城本丸歴史館
15	-	佐賀名所絵はがき（8枚）	-	葉書	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
16	三重津海軍所跡出土	「海」銘椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
17	三重津海軍所跡出土	「海」銘小椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
18	三重津海軍所跡出土	「海」銘小皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
19	三重津海軍所跡出土	「海」銘波文小椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
20	三重津海軍所跡出土	「海」銘波文小杯	-	磁器	佐賀市教育委員会
21	三重津海軍所跡出土	「海」銘灘越蝶文小皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
22	三重津海軍所跡出土	「海」銘灘越蝶文手塩皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
23	三重津海軍所跡出土	「海」銘灘越蝶文手塩皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
24	三重津海軍所跡出土	「船」銘小椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
25	三重津海軍所跡出土	「船」銘小椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
26	三重津海軍所跡出土	「船」銘小皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
27	三重津海軍所跡出土	「役」銘梅文小椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
28	三重津海軍所跡出土	「役」銘梅文小椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
29	三重津海軍所跡出土	「役」銘梅文小杯	-	磁器	佐賀市教育委員会
30	三重津海軍所跡出土	「役」銘灘越蝶文小皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
31	三重津海軍所跡出土	「役」銘灘越蝶文手塩皿	-	磁器	佐賀市教育委員会

No.	作者・編集者名等	資料名	年代・時代	形態	所蔵
32	三重津海軍所跡出土	「役」銘灘越蝶文手塩皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
33	三重津海軍所跡出土	「役」銘梅文手塩皿	-	磁器	佐賀市教育委員会
34	三重津海軍所跡出土	「御船方」銘椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
35	三重津海軍所跡出土	「御船方」銘椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
36	三重津海軍所跡出土	「御船方」銘椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
37	三重津海軍所跡出土	「御船方」銘椀	-	磁器	佐賀市教育委員会
38	三重津海軍所跡出土	埴塙または小型とりべ（铸造遺物）	-	-	佐賀市教育委員会
39	三重津海軍所跡出土	埴塙（埴塙）	-	-	佐賀市教育委員会
40	三重津海軍所跡出土	羽口（铸造遺物）	-	-	佐賀市教育委員会
41	三重津海軍所跡出土	羽口（铸造遺物）	-	-	佐賀市教育委員会
42	三重津海軍所跡出土	湯口（铸造遺物）	-	真鍮	佐賀市教育委員会
43	三重津海軍所跡出土	鑄型（铸造遺物）	-	-	佐賀市教育委員会
44	三重津海軍所跡出土	銅滓（铸造遺物）	-	-	佐賀市教育委員会
45	三重津海軍所跡出土	銅滓（铸造遺物）	-	-	佐賀市教育委員会
46	三重津海軍所跡出土	銅滓（铸造遺物）	-	-	佐賀市教育委員会
47	三重津海軍所跡出土	蓋状金属製品	-	真鍮	佐賀市教育委員会
48	三重津海軍所跡出土	釘（12本）	-	純銅、真鍮製	佐賀市教育委員会
49	三重津海軍所跡出土	銅板（金属製品）	-	純銅	佐賀市教育委員会
50	開陽丸海底遺跡	船舶用ロープ（船舶用具）	-	布、繊維	北海道 江差町
51	開陽丸海底遺跡	ボルトか（金属製品）	-	銅	北海道 江差町
52	開陽丸海底遺跡	座金付ボルト（金属製品）	-	銅、真鍮	北海道 江差町
53	開陽丸海底遺跡	銅板（金属製品）	-	純銅	北海道 江差町
54	開陽丸海底遺跡	角釘（35本）	-	純銅、真鍮	北海道 江差町
第二章 銅像制作過程					
55	徳安和博	鍋島直正像	2016	FRP	個人
56	徳安和博	鍋島直正頭部雛型	2016	FRP	個人
57	徳安和博	鍋島直正立像	2017	FRP	個人
58	徳安和博	古賀穀堂立像	2017	FRP	個人
59	徳安和博	副島種臣座像	2017	FRP	個人
60	徳安和博	枝吉神陽立像	2017	FRP	個人
61	徳安和博	佐野常民座像	2017	FRP	個人
62	徳安和博	江藤新平立像	2017	FRP	個人
63	徳安和博	大木喬任立像	2017	FRP	個人
64	徳安和博	大隈重信立像	2017	FRP	個人
65	徳安和博	島義勇像	2018	FRP	個人
66	徳安和博	島義勇立像	2018	FRP	個人
67	徳安和博	島義勇像雛型	2018	FRP	個人
68	-	鍋島直正公 3D データ	-	3D データ	公益財団法人鍋島報効会 徴古館
69	-	石膏雌型寄せ型	2018	-	-
70	-	シリコン型 見本	2017	-	-
71	-	石膏型杏葉紋	2016	-	-

# 活動記録

佐賀大学に親しみを持ってもらう企画「来てみんしゃい! 佐賀大学へ」で、美術館にてイベントを行った。季節イベントの七夕とクリスマスの時期にワークショップと美術館のガラス壁面を利用した夜間プロジェクションマッピングを公開した。期間中、短冊やクリスマスカードをつくる来館者が参加できるイベントも併せて行った。

## 七夕イベント「星に願いを☆」

### 《活動概要》

七夕に合わせて、「来てみんしゃい! 佐賀大学へ」企画「つくろう☆かざろう 七夕ワークショップ」「来て見て書いて わたしたちの七夕まつり」「夜間プロジェクションマッピング」を開催した。七夕飾りに込められた願いや意味を学び、お飾りや短冊をつくった。子どもから大人まで美術館に親しみをもってもらう企画をめざした。

《会期》2018年7月1日(日)～8月31日(金)

《事業日数》45日間

《主催》佐賀大学クリエイティブラーニングセンター、佐賀大学美術館

《後援》佐賀大学広報室「来てみんしゃい! 佐賀大学へ」

《活動内容》ワークショップ「つくろう☆かざろう 七夕ワークショップ」

日時：7月1日(日) 13:30～

会場：スタジオ

参加：41人

### 短冊づくり

「来て見て書いて わたしたちの七夕まつり」

日時：7月7日(土)～7月19日(木)

10:00～17:00

会場：スタジオ

参加：79人

### 夜間プロジェクションマッピング

日時：7月10日(火)～8月31日(金)

19:30～22:00 (44日間)

会場：美術館外壁ガラス面 ※館外からの観覧

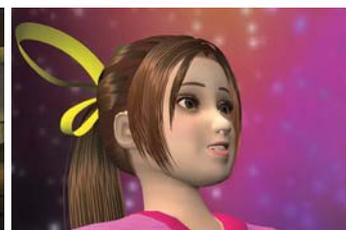
《広報物》チラシ



広報画像



ワークショップ



プロジェクションマッピング



展示風景

## クリスマスイベント「サンタとカードと幸せと」

### 《活動概要》

クリスマスに合わせて、「来てみんしゃい！佐賀大学へ」企画「クリスマスカードづくりーサンタとカードと幸せと」「夜間プロジェクション サンタとカードと幸せと」を開催した。クリスマスやグリーティングカードの起源を学んだ後、オリジナルのカードを作った。

《会期》2018年12月2日（日）～25日（火）

《事業日数》21日間

《主催》佐賀大学クリエイティブラーニングセンター、佐賀大学美術館

《後援》佐賀大学広報室「来てみんしゃい！佐賀大学へ」

《活動内容》ワークショップ「クリスマスカードづくりーサンタとカードと幸せと」

日時：12月2日（日）14:00～

会場：歴史展示スペース

参加：12人

夜間プロジェクションマッピング

「サンタとカードと幸せと」

日時：12月13日（木）～

25日（火）18:00～22:00（12日間）

会場：美術館外壁ガラス面

※館外からの観覧

参加：17人

《広報物》チラシ



チラシ



ワークショップ



プロジェクションマッピング



カード

## 2. 展示記録（企画申請）

### 表現と空間と言葉

#### 《展覧会概要》

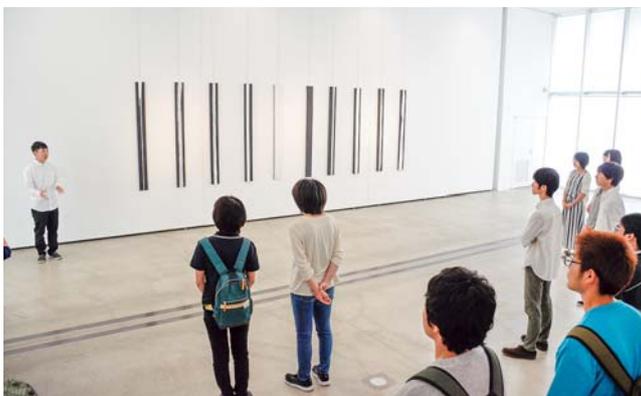
芸術地域デザイン学部の学生有志による展覧会。企画、運営、制作、展示と全てを学生たちが行った。展覧会では、テーマやコンセプト、ジャンルの異なる5つの作品が展示され、会期中には作者とキュレーターと来館者で作品について話すクロストークが行われた。

《会期》2018年6月21日（木）～6月29日（金）

《日数》8日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》表現と空間と言葉実行委員会



### 発掘された佐賀2018—佐賀県発掘調査成果速報展—

#### 《展覧会概要》

2016年度から2017年度までに佐賀県内で発掘調査された12遺跡の成果発表展。佐賀県教育委員会と佐賀大学の共同で開催した。中近世の城館跡をはじめ、徳川家康の内陣跡、唐津窯跡など多様な考古資料を展示した。会期中、「発掘された佐賀2018—佐賀県発掘調査速報—」の関連調査報告会が開催された。

《会期》2018年7月6日（金）～7月10日（火）

《日数》4日間

《会場》ギャラリー1

《主催》佐賀県教育委員会、佐賀大学（地域学歴史文化研究センター、全学教育機構）



## 芸術表現基礎・地域デザイン基礎 成果発表展

### 《展覧会概要》

芸術地域デザイン学部の1年生119名が「芸術表現基礎」と「地域デザイン基礎」の授業で制作した成果作品を発表した。「ミクストメディア」「絵画」「デザイン」「マネジメント」「フィールドワーク」「工芸」6つのテーマを設定し、様々な素材を用いた作品を展示した。オープンキャンパスに合わせ、学生によるギャラリートークも実施した。



《会期》2018年7月25日(水)～8月10日(金)

《日数》15日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部



## 第41回 二紀会佐賀支部展

### 《展覧会概要》

毎年10月に国立新美術館(東京都)で開催される「二紀展」の佐賀支部による支部展。100号サイズ以上の油彩画や立体作品を展示した。会期中には二紀会佐賀支部による作品批評会や吉岡正人氏による講演会、テンペラと油彩による公開制作が行われた。



《会期》2018年8月22日(水)～8月26日(日)

《日数》5日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》二紀会佐賀支部



### 第3回 S-YOU-GA 展

#### 《展覧会概要》

佐賀大学芸術地域デザイン学部西洋画専攻および崇城大学芸術学部洋画コース（熊本県）の教員、学生、卒業生ら約80名による合同企画展。様々な作風で制作されたS30号の絵画が一堂に会する展覧会となった。



《会期》2018年9月8日(土)～9月17日(月・祝)

《日数》9日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

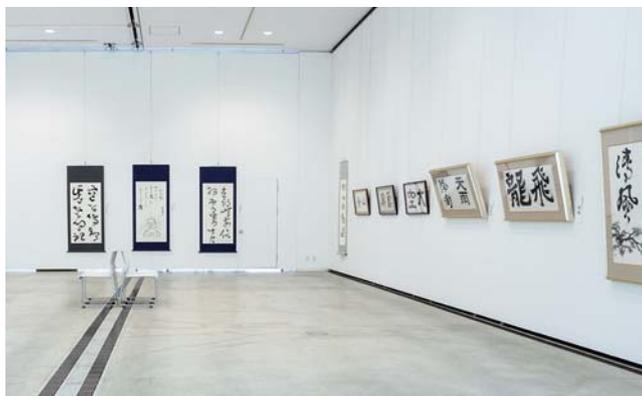
《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部西洋画専攻、崇城大学芸術学部洋画コース



### 第9回 璞友会展

#### 《展覧会概要》

佐賀県内で書を学んでいる「璞友会」が定期的に行っている成果発表の展覧会。様々な書体で表現された幅の広い作品を展示した。当館で開催されるのは今回で4回目となる。今年度は、指導者を含めた12名による15点の書を発表した。



《会期》2018年10月10日(水)～10月14日(日)

《日数》5日間

《会場》ギャラリー1

《主催》璞友会



## 写真展「わたしの好きなもの」

### 《展覧会概要》

写真を趣味としている佐賀大学職員 6 人による“わたしの好きなもの”をテーマとした企画展。各々が被写体と向き合い、作品を並べることで、撮影者ごとの個性や写真の可能性を普段カメラに触れることが少ない人に感じてもらうことを趣旨とした。

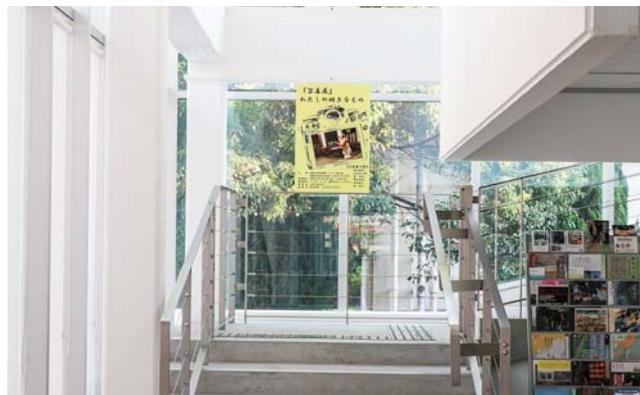


《会期》2018年10月13日（土）～10月21日（日）

《日数》8 日間

《会場》小展示室（歴史展示スペース）

《主催》写真撮影隊



## 佐賀大学公開講座「みんなの大学 写真展」

### 《展覧会概要》

佐賀大学経済学部の公開講座「みんなの大学」の受講生50人による写真の展覧会。佐賀県の風景や家族の写真など約135点を展示した。会期中に佐賀大学の大学祭が催され、幅広い年代の来館者が訪れた。



《会期》2018年10月17日（水）～10月21日（日）

《日数》5 日間

《会場》ギャラリー 1、ギャラリー 2

《主催》佐賀大学経済学部



## 平成30年度 JA 共済小・中学校第54回書道・第44回交通安全ポスターコンクール

### 《展覧会概要》

JA 共済が文化支援事業として毎年実施している全国規模のコンクールの入賞作品展。

当館では応募された書作品および交通安全ポスターの中から、入選、特選を果たした324点を展示した。

《会期》2018年10月24日（水）～10月31日（水）

《日数》7日間

《会場》ギャラリー 1、ギャラリー 2

《主催》農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会

《後援》文部科学省、佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、他



## FRONT LINE 2018

### 《展覧会概要》

芸術地域デザイン学部主催クリエイティブラーニングセンター共催のデジタルアートを紹介する展覧会。

今回は、医と芸の2つの”術（ART）”を2Dや3DのイラストレーションやVR、MRによって、結ぶ試みを目指した。会期中、同会場にて講演会、トークセッションを開催した。

《会期》2018年11月3日（土）～11月8日（木）

《日数》5日間

《会場》ギャラリー 1、ギャラリー 2、スタジオ、小展示室

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部

《共催》佐賀大学クリエイティブ・ラーニングセンター

《後援》日本メディカルイラストレーション学会



## 第60回 総合展—これまでの これからのあゆみ

### 《展覧会概要》

文化教育学部美術・工芸課程と芸術地域デザイン学部の学生主体による総合美術展。当館での開催は今回が5回目。学部改変後の芸術地域デザイン学部の学生が主導するものとしては初。



《会期》2018年11月11日(日)～11月18日(日)

《日数》7日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭

《主催》第60回総合展実行委員会



## 毎日書道展第70回記念 毎日現代書巡回展 佐賀展

### 《展覧会概要》

1948年から続く「毎日現代書巡回展」の70回目を記念した書道展。漢字、かな、篆刻、近代詩文書、大字書、刻字、前衛書の7部門で構成されている。今回は253人の作家による317点を展示した。



《会期》2018年11月21日(水)～11月25日(日)

《日数》5日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室

《主催》毎日新聞社、毎日書道会

《後援》佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀市教育委員会、佐賀新聞社、NHK佐賀放送局、サガテレビ、佐賀県書作家協会、西部毎日書道会



## たまゆいの光（夜間展示）さが維新まつり「灯りの空間演出」再演

### 《展覧会概要》

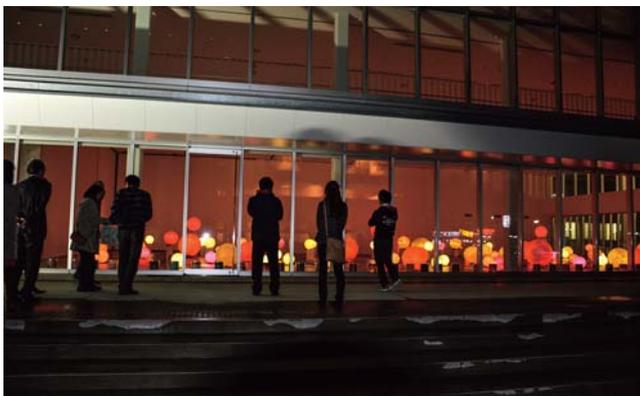
佐賀県主催「さが維新まつり」のフィナーレ演出として、芸術地域デザイン学部 荒木博申教授と学生で手掛けた「灯りの空間演出」を再演する展示。会期中の17時から点灯し22時まで夜間公開した。館外からの観覧であったが多くの人で賑った。

《会期》2018年11月28日（水）～11月30日（金）

《日数》3日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部



## 第59回 佐賀県学童美術展

### 《展覧会概要》

佐賀県内の園児および小・中学生が授業中に制作した絵画、デザイン、線描を645点展示した。小・中学生は学校、各地区の審査、そして本部審査で特選を受賞した作品が展示され、会期中の8日にギャラリートークも開催された。

《会期》2018年12月4日（火）～12月9日（日）

《日数》6日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀県造形教育研究会

《後援》佐賀県教育委員会



第43回 佐賀県高等学校書道教師書作展  
 第43回 佐賀県高校臨書展（生徒優秀作品展示）

《展覧会概要》

佐賀県内の高校で書道を担当する教師が授業研究会の他に、年に一度の作品発表の場として開催している展覧会。日頃の研鑽の成果として今年度は34名が44点の書、掛軸、篆刻を展示した。さらに、高校書道部、選択授業の生徒の学習成果の一端として県高等学校生徒臨書展の優秀作品を展示した。



《会期》2018年12月12日（水）～12月16日（日）

《日数》5日間

《会場》ギャラリー 1、ギャラリー 2、スタジオ

《主催》佐賀県高等学校教育研究会書道部門

《共催》佐賀県高等学校文化連盟書道専門部

《後援》佐賀県書道教育連盟



面浮立 ～過去、現在そして未来～

《展覧会概要》

佐賀県鹿島市の伝統芸能である面浮立の歴史をたどり、現在の姿を紹介する展覧会。芸術地域デザイン学部の教員と学生の調査発表や面浮立からインスピレーションを受けた現代アートの作品を展示した。会期中、研究発表も行われた。



《会期》2018年12月12日（水）～12月16日（日）

《日数》5日間

《会場》小展示室、歴史展示スペース

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部（S. A. ホートン）



### 第34回 佐賀県高等学校美術教師作品展 第8回 生徒授業作品展「これが高校美術だ!」

#### 《展覧会概要》

佐賀県内の高校で美術を教える教師25名による油彩やデザイン、染色、立体作品など31点を展示した。さらに、高校で美術を学ぶ意義を一般に伝えるべく、県内10校から高校生の授業作品を出展した作品展「これが高校美術だ!」を併催。多彩な作品を展示した。

《会期》2018年12月19日(水)～12月24日(月・祝)

《日数》6日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀県高等学校教育研究会芸術部会美術部会



### 佐賀大学教育学部附属特別支援学校 第3回 児童生徒作品展

#### 《展覧会概要》

教育学部附属特別支援学校が、児童生徒の授業作品や学習の様子について展示し、活動を広く周知するとともに、展示・鑑賞を通して児童生徒の情操の学習に取り組むため開催している展覧会。

特別支援学校で学ぶ知的障害を持つ児童生徒による図工・美術作品、作業製品、学習活動の中で制作した作品や教材を展示した。

《会期》2019年2月13日(水)～2月17日(日)

《日数》5日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2

《主催》佐賀大学教育学部附属特別支援学校



第63回 佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程卒業制作展  
 第25回 佐賀大学大学院地域デザイン研究科修了制作展

《展覧会概要》

芸術地域デザイン学部の前身となった文化教育学部美術・工芸課程としては最後の卒業制作展。学部生および大学院生総勢31名により作品27点、論文9点が発表された。

《会期》2019年2月20日(水)～3月3日(日)

《日数》11日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭 プロムナード 別会場:芸術地域デザイン学部3号館

《主催》文化教育学部美術・工芸教室、佐賀大学大学院地域デザイン研究科



九州コンテンポラリーアート2019 佐賀

《展覧会概要》

九州を中心として活動する現代美術作家の展覧会。平面から立体、インスタレーションなどジャンルにとらわれない作品58点を展示した。この展覧会は、佐賀県立美術館とギャラリーシルクロの別会場が設けられており、当館は3つの会場のうちの1つ。

《会期》2019年3月7日(木)～3月10日(日)

《日数》4日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭

《主催》九州コンテンポラリーアート実行委員会

《共催》公益財団法人朝日新聞文化財団、一般財団法人福岡芸術応援団

《後援》佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、サガテレビ、エフエム佐賀、NBCラジオ長崎、KBC九州朝日放送、RKB毎日放送、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

《協賛》ギャラリー風、ペリカン調剤薬局、エン建築事務所、チトセヤ画材店、アートスタジオ海の中道、ミナミ画材店、屋根裏篋、ワタナベ画材



## 第十九回佐賀大学卒業書作展

### 《展覧会概要》

佐賀大学文化教育学部国語科（書写）最後の卒業生による卒業書作展。2階小展示室にて学生の臨書や指導教員2名の賛助作品、あわせて16点を展示した。

《会期》2019年3月7日（木）～3月10日（日）

《日数》4日間

《会場》小展示室

《主催》佐賀大学文化教育学部学校教育課程教科教育選修国語（書写）教育分野



## 佐賀大学デジタル表現技術者養成プログラム第九期生修了作品展 电脑芸術展

### 《展覧会概要》

佐賀大学の「デジタル表現技術者養成プログラム」受講生による修了作品展。2年間の履修期間の締めくくりとして制作された作品から審査で選ばれた、アニメーション、プロジェクションマッピング、プログラミング、映像作品16点を展示した。学生たちの習熟度と様々な表現手法が伝わる展覧会となった。

《会期》2019年3月14日（木）～3月17日（日）

《日数》4日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、小展示室

《主催》佐賀大学クリエイティブラーニング・ラーニングセンター コンテンツ共創ラボ



## 佐賀大学大学院都市工学専攻 理工学部都市工学科修士制作・卒業制作展

### 《展覧会概要》

理工学部都市工学科で学んだ学部4年生と大学院2年生の修士制作・卒業制作展。新たな建築デザインや都市デザインを提案する建築模型やプレゼンボードなど様々な作品を紹介した。学生の成果を広く学内外に伝える展示となった。

《会期》2019年3月15日(金)～3月22日(金)

《日数》7日間

《会場》スタジオ

《主催》佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻、佐賀大学理工学部都市工学科



## 青木繁原画《海の幸》緞帳公開修復展

### 《展覧会概要》

青木繁の《海の幸》を再現した緞帳の公開修復を行った。緞帳は縦3.8m、横5.3mの一部。芸術地域デザイン学部 石井美恵准教授が中心となって開催した。期間中は来館者も修復作業に参加でき、鑑賞だけでなく文化財の保存修復について広く伝える展示となった。

《会期》2019年3月24日(日)～3月31日(日)

《日数》7日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部(石井美恵)



## 佐賀錦の世界 ～古賀家を通じて～

### 《展覧会概要》

佐賀県の伝統工芸である佐賀錦を紐解く展覧会。佐賀錦の発展に尽くした古賀家に残された数多くの作品、図案、資料を展示した。会期中は織の実演やギャラリートーク、芸術地域デザイン学部の学生によるワークショップやビデオトークも開催した。



《会期》2019年3月24日（日）～3月31日（日）

《日数》7日間

《会場》スタジオ、小展示室、特別展示室、歴史展示スペース

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部（石井美恵）



## 〔プロムナード使用〕

### 佐賀大学アカペラサークル「Score!」によるミニライブ

#### 《展覧会概要》

佐賀大学の学生音楽サークル「Score!」が昼休みに新入生に向けたミニライブを行った。ボイスパーカッションやアカペラなど、日頃の活動の成果を披露した。

《日時》2018年4月11日（水）

12:00～12:30

《日数》1日間

《会場》プロムナード

《主催》佐賀大学アカペラサークル「Score!」



### 3. 実習

#### 概要

2016年より当館での博物館実習の学内生の受け入れが始まった。2018年度は学芸員資格取得希望者1年生32人、2、3年生42人を受け入れ、当該期間に展覧会監視と受付対応実習を館内で行った。また、美術館の収蔵庫見学も開催した。

《実習名》博物館実習 監視、受付実習（前期・後期）

《内容》当館主催事業を教材に、同時間に2人の実習生を受け入れ、実習時間60分の内30分ずつで、監視と受付対応の実習を行った。展示室内の作品、来館者、環境の保全を意識しながら、来館者対応を行い、気付いたことをレポートにまとめた。また、別日に収蔵庫を含む美術館内の見学も行った。

《期間》（前期）2018年6月1日（金）～7月5日（木） ※説明会5月31日（木）16:20～

展覧会「新収蔵品展—平成29年度寄贈作品による」

（後期）2019年1月10日（木）～2月8日（金）

展覧会「佐賀藩10代藩主 鍋島直正展」

（博物館見学）2018年10月26日（金）14:40～15:30、16:20～17:50

《参加者》75名



## 4. 刊行・掲載・見学

### 〔刊行物〕

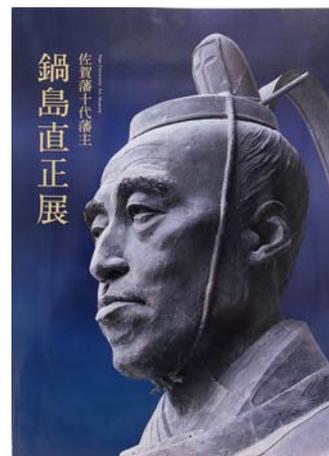
図録「佐賀藩十代藩主 鍋島直正展」

〔概要〕 図録

〔仕様〕 A4 版76ページ 4色刷

〔発行部数〕 1200部

〔発行日〕 2019年1月4日



「佐賀大学美術館 平成29年度年報/紀要」

〔概要〕 年報:館概要/沿革/組織図/平成29年度の活動

紀要:「塑像と素材-佐大の彫刻」展

— 展覧会報告と緒方敏雄、古賀忠雄について

今村 真由美 (佐賀大学美術館 学芸員)

岩永京吉 作品における女性像の一考察

— 佐賀大学美術館所蔵《裸婦》(1963)を中心に

出口 智佳子 (佐賀大学美術館 学芸員)

〔仕様〕 AB 版44ページ 4色刷

〔発行部数〕 500部

〔発行日〕 2018年11月30日



〔掲載紙・テレビ・ラジオ〕 2018年度は総数で新聞等71件、TV・ラジオ10件が掲載・放送された。  
 ※本頁は館主催事業についての報道のみ抜粋。

- ・ 展覧会情報「“特美”の芽吹き」（4月27日 佐賀新聞）
- ・ 展覧会「新収蔵品展」（4月19日・22日 佐賀新聞）
- ・ エンジョイ佐賀 佐賀大で新収蔵品展（5月25日 読売新聞）
- ・ 展覧会情報「幕末の佐賀と学問」（6月29日 佐賀新聞）
- ・ 「幕末の佐賀と学問」展（7月31日 佐賀新聞）
- ・ 佐賀大学で企画展「見えた!? 三重津海軍所」世界遺産で出土した磁器の謎に迫る（8月20日 佐賀経済新聞）
- ・ ニュース「三重津海軍所出土 特注の磁器展『見えた!?三重津海軍所佐賀藩海軍特注磁器の謎』」（8月22日 NHK 佐賀）
- ・ 展覧会「見えた!? 三重津海軍所佐賀藩海軍特注磁器の謎」（8月24日、9月11日 佐賀新聞）
- ・ ニュース「佐賀大学美術館 5周年企画展」（9月26日 NHK 佐賀）
- ・ 佐賀大学美術館開館5周年回顧 逸品ぞろい「実り展」（9月28日 佐賀新聞）
- ・ ニュース「佐賀大卒女性4人の作品展」、「島義勇の銅像完成 七賢人、北海道開拓の父 西御門橋南 道知事ら交流誓う」（11月13日 NHK 佐賀）
- ・ 展覧会「美工 OG 展—平成に咲く四輪の花」（11月14日 佐賀新聞）
- ・ 鍋島直正の功績紹介 銅像の原型など展示（1月19日 西日本新聞）
- ・ 鍋島直正像の制作過程紹介 佐賀大美術館で企画展（1月25日 読売新聞）
- ・ かちかち Press「佐賀大学美術館から中継」（1月25日 サガテレビ）
- ・ 鍋島直正の功績紹介 銅像の原型など展示（1月29日 西日本新聞）
- ・ 見下ろし鑑賞 直正像の原型（2月2日 朝日新聞）

〔掲載誌〕

誌名	発行	発行日
『肥前さが幕末維新博覧会×九州 Walker』 「幕末の佐賀と学問」	KADOKAWA	2018年3月
『佐賀大学広報誌 かちがらす』2018年10月号 「遥かなり十五畷」	佐賀大学広報室	2018年10月
太宰治文学サロン通信 2018December vol. 41 「作家と『ある画家』—久富邦夫との交友をめぐる—」	太宰治文学サロン	2018年12月
『有朋会130年記念誌創造と継承』 久富邦夫《扇》、榑崎重視学生日記	佐賀大学教育学部同窓会	2018年12月20日
ぼたりニュース 第1号2019winter 「佐賀藩10代藩主鍋島直正展」	SMAART	2019年2月1日
『MOTEMOTE さが』2019年3月号 「佐賀大学美術・工芸卒業・修了作品展」	佐賀新聞文化センター	2019年3月1日
『佐賀大学広報誌かちがらす』2019年3月号 「佐賀大学美術・工芸卒業・修了作品展」	佐賀大学広報室	2019年3月
『佐賀大学広報誌かちがらす』2019年3月号 「佐賀藩10代藩主鍋島直正展」	佐賀大学広報室	2019年3月

〔見学団体一覧〕 ※事前連絡および申告にて把握できた団体名称および人数。  
 ※参加者数に引率者を含む。

期日	団体名	人数
4月12日	「芸術創造Ⅱ」受講者	17
4月13日	「芸術創造Ⅱ」受講者	9
4月28日	「大学入門科目Ⅰ」受講者	17
5月2日	「彫刻Ⅰa」受講者	7
6月16日	福岡県立糸島高等学校	47
6月17日	(学)佐賀龍谷学園 龍谷高等学園	55
7月11日	「ヘリテージマネジメント論」受講者	62
7月11日	「応用美術理論」「美術史Ⅰ」受講者	36
7月12日	「日本事情」留学生受講者	25
7月13日	福岡県立舞鶴高等学校	142
7月14日	佐賀県立佐賀農業高等学校	25
7月16日	佐賀大学経済学部「73期同窓会」	126
7月19日	福岡県立福岡高等学校	93
7月22日	佐賀大学工学系研究科 都市工学専攻 環アジア国際セミナー受講者	15
7月26日	鹿児島県立曾於高等学校	15
8月24日	長崎県立大村高等学校 PTA	18
8月27日	日本地衣類研究会	15
9月8日	日本画像学会	14
9月12日	デイサービスケアサポート晴寿	19
9月13日	デイサービスケアサポート晴寿	18
9月14日	デイサービスケアサポート晴寿	18
9月15日	デイサービスケアサポート晴寿	20
9月16日	デイサービスケアサポート晴寿	10
9月18日	デイサービスケアサポート晴寿	13
9月20日	佐賀県立伊万里高等学校	196
9月24日	デイサービスケアサポート晴寿	7
9月29日	佐賀県立武雄青陵中学校	124

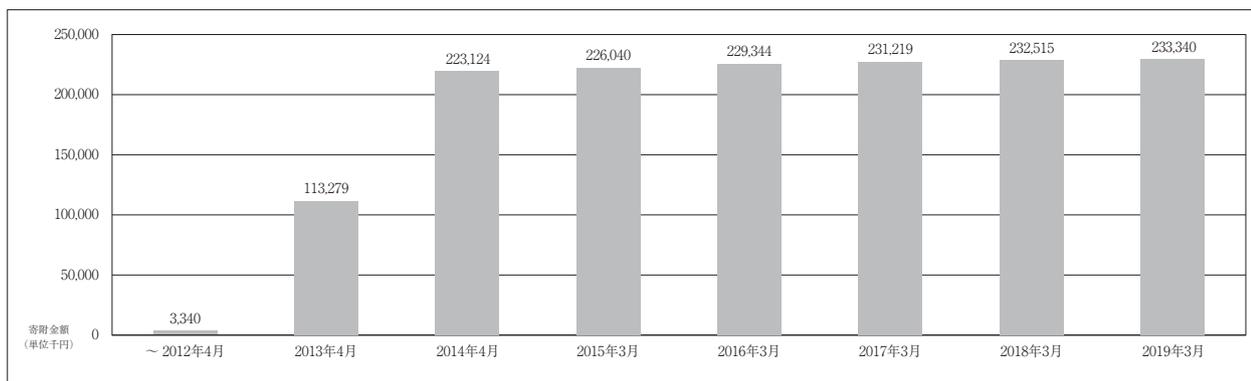
期日	団体名	人数
10月4日	福岡県立光陵高等学校 PTA	27
10月17日	福岡県立筑前高等学校 PTA	97
10月18日	福岡県立小郡高等学校父母教師会	41
10月20日	循誘公民館講座受講者	22
10月20日	金曜会	10
10月24日	大阪大学日本史研究室	56
10月24日	福岡県立新宮高等学校	40
10月26日	福岡県立武蔵台高等学校	76
11月13日	九州地区国立大学教養教育実施組織会議 及び事務協議会	25
11月14日	佐賀県理容・美容専門学校 (IB ビューティーカレッジ)	28
11月21日	佐賀大学同窓会文理学部卒業生	10
11月25日	佐賀大学ホームカミングデイ	50
11月29日	九州国際ビジネス専門学校	17
12月2日	佐賀大学教育学部附属中学校	23
12月2日	佐賀市立城東中学校	48
12月6日	義務教育学校多久市立東原座舎中央校	55
1月6日	放課後等デイサービスきらめき	19
1月10日	元培医事科技大学(台湾)	23
1月18日	「芸術表現A(西洋画)」受講者	18
1月31日	佐賀県立佐賀西高等学校	65
2月2日	佐賀県立佐賀商業高等学校	40
2月2日	佐賀学園高等学校	18
2月10日	長崎国際大学	34
2月20日	佐賀県白石町立六角小学校	21
2月23日	佐賀清和高等学校	38

2018年4月12日～2019年2月23日

## 5. 寄附

### [美術館設置募金の経緯]

- 2011年 6月 美術館設置募金 WG 設置  
2012年 4月 美術館設置事業募金開始  
2013年 6月 寄附者芳名帳を公開  
美術館規則の制定に伴い、美術館設置募金 WG を解散  
9月 美術館に高額寄附者銘板を設置  
10月 美術館開館後も美術館設置事業募金を継続  
2019年 3月 募金総額233,340,667円(2019年3月31日現在)



## 6. 職員の館外調査研究・研修等

出口智佳子

日 時：2018年12月12日(月)～12月15日(木)

場 所：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

目 的：「平成30年度博物館学芸員専門講座」出席

出口智佳子

日 時：2018年12月10日(月) 18:30～

場 所：西南学院大学西南コミュニティセンター

目 的：公開講座講師「ヴィクトリア朝における聖なるもの」

今村真由美

日 時：2019年2月5日(火)～2月9日(土)

場 所：国立国際美術館

目 的：平成30年度独立行政法人国立美術館キュレーター研修

## 7. 作品修復・燻蒸

### 作品修復

#### ① 作者名：久富邦夫

作品名：「絵のある部屋」

作業期間：2018年7～10月

委託先：絵画修復のための工房 竹ノ下須磨子 堺智子

##### 1) 作業内容

###### \* 作業前の状態

- (1)画面全体に汚れが付着、黴も発生していた。黴は特に黒色絵具の部分や画面下側に多く発生していた。
- (2)絵具層に亀裂や層間剥離があり、さらに一部は層間剥落へと進行していた。キャンバスの表裏両面全体に多くの亀裂と横線状の凹凸があり、支持体は一部に凹凸がみられた。キャンバスの側面釘の錆が進行していた。
- (3)額も汚れ、黴も発生していた。

###### \* 保存修復処置内容

- (1)画面の汚れは灰汁 (Ph 9) でクリーニングを行い、黴は、綿棒にエタノール70%溶液を含ませて除去・殺菌した。キャンバス側面や裏面は灰汁 (Ph 9) やエタノール70%溶液を使用し、汚れの除去・殺菌を行った。裏面全体にエタノール70%溶液を塗布。
- (2)絵具層の損傷部分に膠水を注入、加熱固着。剥落部分は充填をし、周囲のタッチに合わせ整形後、補彩 (不透明水彩・樹脂絵具)。最後にマットワニス (合成樹脂) を塗布し、画面を調整。支持体の凹凸は温めたコテで押し戻した。側面釘の錆は削り防錆剤を塗布。
- (3)額の汚れは、灰汁 (Ph 9) やエタノール70%溶液を使用し、コットンや綿棒で除去・殺菌。

#### ② 作者名：久富邦夫

作品名：「手紙」

作業期間2018年7～10月

委託先：絵画修復のための工房 竹ノ下須磨子 堺智子

##### 1) 作業内容

###### \* 作業前の状態

- (1)画面全体に汚れが付着、黴も発生していた。黴は特に黒色絵具の部分や画面下側に多く発生していた。
- (2)絵具層に亀裂や剥離があり、さらに一部は剥落へと進行している。画面全体に多くの亀裂が横線状に見られた。支持体に凹凸が左端に一部見られる。キャンバスの釘が錆び、一本欠落をしていた。
- (3)額も汚れ、黴も付着していた。

###### \* 保存修復処置内容

- (1)画面の汚れは灰汁 (Ph 9) でクリーニングを行い、黴は、綿棒にエタノール70%溶液を含ませて除去・殺菌した。側面および裏面は、灰汁 (Ph 9) やエタノール70%溶液を塗布。
- (2)絵具層の損傷部分に膠水 (兎膠：精製水10%) を注入、加熱固着。剥落部分は充填をし、周囲のタッチに合わせ整形後に、補彩 (不透明水彩・樹脂絵具)。最後にマットワニス (合成樹脂) を塗布し、画面の調整。支持体の凹凸は温めたコテで押し戻した。側面釘の錆は削り防錆剤を塗布、欠落した釘は新たに打ち加えた。
- (3)額の汚れは、灰汁 (Ph 9) やエタノール70%溶液を使用して、コットンや綿棒で除去や殺菌を行った。

### 燻蒸

作品：新収蔵品資料等63点

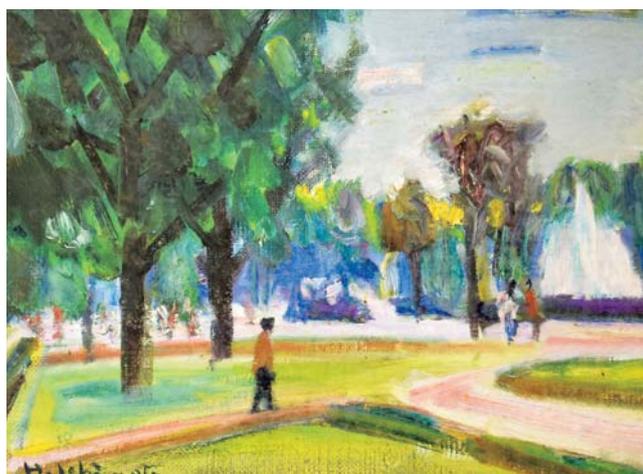
燻蒸作業期間：2018年7月8日(日)～11日(水)

場所：2階 小展示室にてテントを設営して実施

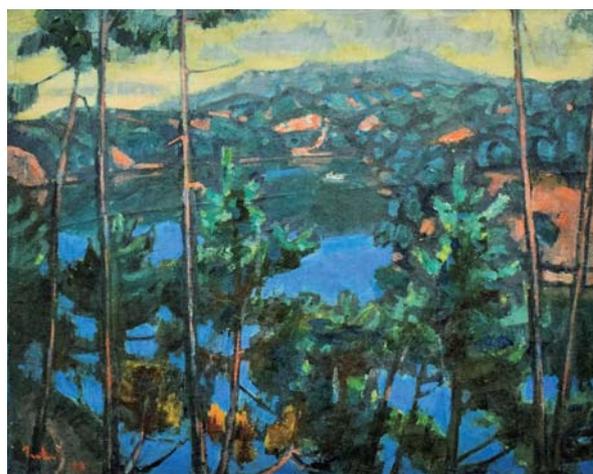
## 8. 新収蔵作品

2018年度に佐賀大学の所蔵となった物品の内、佐賀大学美術館が保管もしくは管理する作品。

収蔵年	作家名	作家名_E	作品名	作品名_E
2018	石本 秀雄	ISHIMOTO, Hideo	新緑の中央公園	The Central Park of Fresh Green
2018	筒井 茂雄	TSUTSUI, Shigeo	風景	Landscape
2018	佐口 七朗	SAGUCHI, Shichiro	構成 2	Composition 2
2018	佐口 七朗	SAGUCHI, Shichiro	球体による構成-589	Composition of Ball; 589

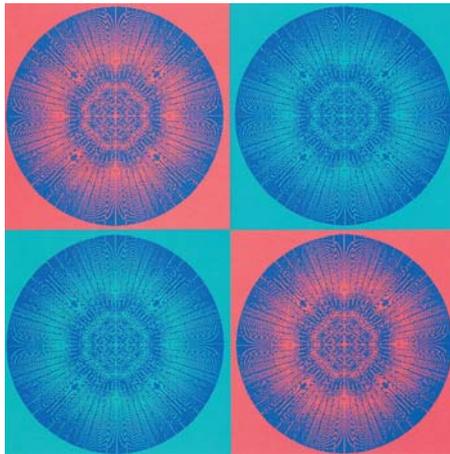


石本秀雄〈新緑の中央公園〉



筒井茂雄〈風景〉

分類	制作年(和暦)	制作年(西暦)	寸法(H×W)	素材	出品歴	寄贈者
西洋画	—	—	22.0×33.3	油彩・カンヴァス	—	竹田 貞子 氏
西洋画	昭和14	1939	73.2×91.0	油彩・カンヴァス	—	芸術地域デザイン 学部より管理替
デザイン	昭和60	1985	50.0×55.0	シルクスクリーン・ケント紙	—	佐口 正章 氏
デザイン	昭和61	1986	40.0×40.0	コンピューターグラフィックス・銀塩ラムダ出力	CG アート展	佐口 正章 氏



佐口七朗《構成2》



佐口七朗《球体による構成-589》

# 9. 入館者一覧表

※数値に重複あり

展覧会	入場者数	会期	日数	主催	展示会場
<開館5周年記念企画(春期)> "特美"の芽吹き—初代教員たちの逸品	1,558	4月13日-5月13日	27	佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
新収蔵品展—平成29年度寄贈作品による	1,713	4月15日-7月8日	73	佐賀大学美術館	特別展示室※観覧者実数
表現と空間と言葉	914	6月21日-6月29日	8	表現と空間と言葉実行委員会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
発掘された佐賀2018—佐賀県発掘調査成果展—	431	7月6日-7月10日	4	佐賀県教育委員会、佐賀大学 (地域学歴史文化研究センター、 全学教育機構)	ギャラリー1
幕末の佐賀と学問	1,528	7月13日-8月10日	26	佐賀大学地域学歴史文化研究 センター、佐賀大学美術館	特別展示室、小展示室
芸術表現基礎 地域デザイン基礎成果発表展	3,736	7月25日-8月10日	16	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
第41回二紀会佐賀支部展	1,139	8月22日-8月26日	5	二紀会佐賀支部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
見えた!?三重津海軍所 佐賀藩海軍特注磁器の謎	1,248	8月22日-9月17日	24	佐賀大学美術館	特別展示室、小展示室
第3回S-YOU-GA展	1,370	9月8日-9月17日	9	佐賀大学西洋画専攻、崇城大 学芸術学部洋画コース	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
<開館5周年記念企画(秋期)> 佐賀大学美術の実り	841	9月23日-10月7日	12	佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
環友会展	366	10月10日-10月14日	5	環友会	ギャラリー1
写真展 わたしの好きなもの	1,062	10月13日-10月21日	8	写真撮り隊	小展示室
美工OG展—平成に咲く四輪	3,366	10月17日-12月20日	56	佐賀大学美術館	特別展示室
佐賀大学公開講座「みんなの大学写真展」	736	10月17日-10月21日	5	佐賀大学経済学部	ギャラリー1、ギャラリー2
平成30年度 JA 共済 小・中学生 第53回 書道・第43回交通安全ポスターコンクール	1,373	10月24日-10月31日	7	農業協同組合、 全国共済農業協同組合連合会 佐賀県本部	ギャラリー1、ギャラリー2
FRONT LINE 2018	675	11月3日-11月8日	5	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、 小展示室
佐賀大学美術・工芸課程 第60回総合展 これまでの これからのあゆみ	1,450	11月11日-11月18日	7	第60回総合展実行委員会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、 中庭、小展示室
毎日書道展第70回記念毎日現代巡回展 佐賀展	1,104	11月21日-11月25日	5	毎日新聞社、毎日書道会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、 小展示室
たまゆいの光 さが維新まつり「灯りの空間演出」再演	(夜間展示)	11月28日-11月30日	3	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
第59回 佐賀県学童美術展	3,084	12月4日-12月9日	6	佐賀県造形教育研究会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
第43回 佐賀県高等学校書道教師書作展	1,192	12月12日-12月16日	5	佐賀県高等学校教育研究会書 道部門	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
「面浮立 ～過去、現在そして未来」	1,192	12月12日-12月16日	5	佐賀大学芸術地域デザイン学部	小展示室、歴史展示スペース
第33回 佐賀県高等学校美術教師作品展	745	12月19日-12月24日	6	佐賀県高等学校教育研究会芸 術部会美術部会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
佐賀藩10代藩主鍋島直正展	3,283	1月4日-2月9日	30	佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、 小展示室、特別展示室
佐賀大学教育学部附属特別支援学校 第3回 児童生徒作品展	306	2月13日-2月17日	5	佐賀大学教育学部附属特別支 援学校	ギャラリー1、ギャラリー2
第63回佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程卒 業制作展・第25回佐賀大学大学院教育学研究科 修了制作展	2,076	2月20日-3月3日	11	佐賀大学文化教育学部、 佐賀大学大学院地域デザイン 研究科	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、 中庭、小展示室、プロムナード
九州コンテンポラリーアート2019佐賀	844	3月7日-3月10日	4	九州コンテンポラリーアート実行 委員会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、 中庭
第19回 佐賀大学卒業書作展	844	3月7日-3月10日	4	佐賀大学文化教育学部学校課 程教科教育選修国語(書写) 教育分野	小展示室
佐賀大学デジタル表現技術者養成プログラム 第9期生修了制作展「電脳芸術展」	489	3月14日-3月17日	4	佐賀大学クリエイティブ・ラーニ ングセンター	ギャラリー1、ギャラリー2、小展示 室
佐賀大学大学院 都市工学専攻 理工学部都市専攻科 修士制作・卒業制作展	605	3月15日-3月22日	7	佐賀大学大学院工学系研究科 都市工学専攻、 佐賀大学理工学部都市工学科	スタジオ
佐賀錦の世界～古賀家を通じて～	1,247	3月24日-3月31日	7	佐賀大学芸術地域デザイン学部	スタジオ、小展示室、特別展示室、 歴史展示スペース
青木繁原画《海の幸》緞帳 公開修復	1,247	3月24日-3月31日	7	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2

2018年4月13日～2019年3月31日

## [年度別入場者実績]

※数値に重複なし

	総入館者数	うち有料入館者数	開館日数
2013年度	27,167	0	125
2014年度	40,780	2,652	254
2015年度	37,965	0	281
2016年度	38,474	0	291
2017年度	34,718	0	285
2018年度	31,883	0	273

コレクションの  
意義と活用

—佐賀大学美術館を事例として

佐賀大学美術館  
紀要

# コレクションの意義と活用

—佐賀大学美術館を事例として

出口智佳子

佐賀大学美術館

## 1. はじめに

2018年10月、佐賀大学美術館は開館5年を迎え、年間に2～3回の主催展と10件以上の外部団体による企画申請事業（貸館）を開催し、収蔵品は寄託作品を含めようやく100点ほどとなった。5年という節目となる2018年には、当館収蔵品を中心に紹介した5周年記念展を春季と秋季とで2度開催した。春季展「“特美”の芽吹き-初代教員たちの逸品」では佐賀大学の特別教科（美術・工芸）教員養成課程（以下、「特美」）の初代美術教員を紹介し、秋季展「佐賀大学美術の美り」では、収蔵作品とともにこれまで当館で開催した展覧会を振り返るものであった<sup>1</sup>。2回の展覧会は、収蔵・寄託品の中から合計30点を展示したが、これは当館の全収蔵作品のうち約3分の1を占めるものであった。開館当初には美術館の収蔵品はなく、大学内に散在する本学の教員はじめ、佐賀県にゆかりのある作家の作品を収蔵する予定で、まとまった作品の受け入れの見通しもなかった。当館を語る時、様々なアプローチが考えられるが、本稿では美術館の中核を成すコレクションについて改めて考え、この5年間の当館の収蔵品を整理し、今後のコレクションの収集と活用について模索していきたい。

## 2. コレクションの収蔵と処理の捉え方

コレクションは一般的に、美術品や骨とう品等を趣味的に収集した集合体と考えられている。歴史学者のK. ポミアンによるとコレクションは「一時的もしくは恒久的に経済活動の流通回路の外に保たれ、特別の保護を受け、視線にさらされている自然の産物もしくは人工の品物の集合」<sup>2</sup>で、それらは宮殿などの支配階級の邸宅をはじめ、教会や社寺の宝物殿、博物館、個人宅に蓄積されてきた。コレクションの規模は、国家から個人まで広くあるが、本稿が問題とするところのミュージアムのコレクションとはどのように捉えられるだろうか。本節では、佐賀大学美術館のコレクションを考えるため、コレクションの定義と捉え方を確認していきたい。なお、本稿において「ミュージアム」という語は、考古・歴史学資料や美術作品などの収蔵資料の資料区分を限定、区別しない広義の施設の博物館を指すものとする<sup>3</sup>。

前述のポミアンのコレクション定義において、コレクションとは市場流

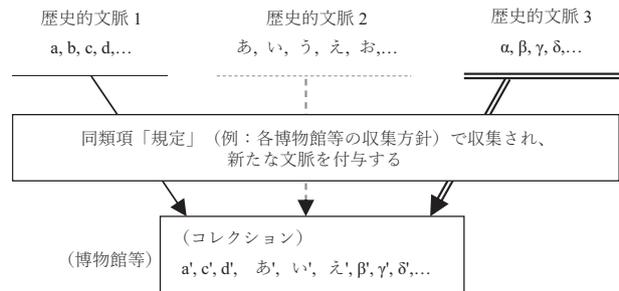
通の外に存在し、眼で鑑賞される資料の集合体である。ここで重要なのはコレクション1つ1つの資料は、元来ある文脈から切り離され、集合体（コレクション）の中で自立する物として捉えられながらも、同類項の「規定」によって集合体（コレクション）に加えられ、それを形成する一部になっていることである。異なる複数の文脈の中から収集方針に従って、必要で収蔵可能な資料がコレクションに加えられるのである。[図1]このコレクションの性質は、ミュージアムのコレクションにおいて顕著と言えるだろう。それぞれの館の収集方針という「規定」によって、元来1つとして成立しえない資料であっても、その集合体（コレクション）に加えられ、その中で自立し、永年保管されるため、この資料のコレクション化自体が新たな歴史的文脈を与えていると言えよう。

博物館メディア論を専門とするW. エルンストは、ミュージアムに収められたコレクションを捉える時、考古学<sup>アーケオロジー</sup>と文書化<sup>アーカイビング</sup>という2つの並列的処理の視点を提示している。考古学的処理とは歴史的文脈のなかで資料を捉えることを言い、資料に対して人が意味づけし物語を付与することを指す。一方、文書的処理とは目録化できる情報によって資料を捉えることを言い、ニュートラルに資料のデータを蓄積することを言う<sup>4</sup>。[図2]ミュージアムにおいて、考古学的処理の見方によってコレクションは収集・公開（展示）され、文書的処理によって作品目録や台帳が作成される。

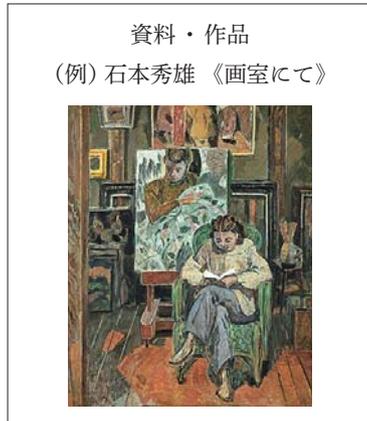
ミュージアムの独自性は、この考古学的処理を紡ぐ行為、つまり考古学的処理によるコレクションの構築と活用によって生まれると言える。コレクション構築のために、ミュージアムでは元来あった歴史的文脈から、ミュージアムの持つ方針や理念によって、資料に新たな文脈と物語が付与されるのである。

本節では、コレクションがいかにかに定義され、捉えられるかを見てきたが、実際にミュージアムにおいて、いかにこれを還元して見ることができのだろうか。次節では、佐賀大学美術館のコレクションの収集方針とこれまでの収蔵作品の状況について整理し、ポミアンとエルンストの理論をあてはめて考えていきたい。

[図1] 歴史的文脈から切り離される資料のコレクション



[図2] コレクションの捉え方  
同類項「規定」(例:各博物館等の収集方針)に  
よって収集された資料や作品



(考古学的処理)

- ・佐賀大学教員の作家による制作
- ・石本が室内画を盛んに描いた時期の作品
- ・セザンヌやマティスからの影響...

(文書処理)

- ・作品名: 画室にて
- ・作者: 石本秀雄
- ・制作年: 1951年
- ・素材: 油彩、カンヴァス
- ・サイズ: 162.8×130.6cm...

### 3. 佐賀大学美術館コレクションの形成と現状

本節では、まず佐賀大学美術館のコレクション収集方針とその状況を確認する。当館の活動目的は、「佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集・保管・展示するとともに、文化芸術の新しい活動や表現を地域の方々とともに作り上げ、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していきます」<sup>5</sup>(傍点筆者)と掲げられている。佐賀大学美術館は現在、93点の作品を収蔵している。[リスト] すべての作品は寄贈と学内からの移管の資料で、その約半数が油彩画を占め、収蔵庫も大部分が平面作品の保管に合わせた設計となっている。当館の収蔵作品は開館当初なく、一括した受け入れも想定していない状況であった。2013年の開館記念展「美術・工芸教室60年の軌跡I」では、特美の歴代教員の作品を県内外から借用し公開、開館にいたった。作品や資料がない状況であるため、当館は佐賀大学を特色つけた特美の歴史を継承しながら、若い美術家の支援、県内を中心に芸術活動する団体の発表の場として活動を展開し、作品発表、公開をその大きな役割として期待されていたことがわかる<sup>6</sup>。

当館のコレクションの形成は、個人による寄贈と佐賀大学の他部署が管理する作品によって築かれてきた。開館初年度、個人より佐賀県出身の洋画家、内山孝《黒土》(1961)と佐賀大学、特美の窯芸教室元教員の宮尾正隆《深層》(2011)の2点寄贈を受けた。

2014年度には34点(個人11点、旧佐賀商工会議所より23点)を、2015年度は31点(個人3点、学内管理替28点)、2016年度は個人より13点、2017年度は個人より9点、2018年度は個人より4点の寄贈を受けている<sup>7</sup>。例年、作品の受け入れは、個人から数点の作品を寄贈いただいている。特筆したい寄贈は2014年に収蔵した佐賀県立美術館からの返還作品と佐賀商工会館からの寄贈作品である。佐賀大学が1976年12月、佐賀県立美術館に寄託していた作品7点が2017年2月に佐賀大学に返還された。寄託作品は、岡田三郎助《若き娘の顔》(1913)、藤島武二《台湾娘》、海老原喜之助《衣を与う》(1956)、斎藤与里《婦人像》、中西利雄《H氏像》(1943)、辻永《須磨初秋》、石本秀雄《画室にて》(1951)の7点で、1976年の預け時には佐賀大学教育学部の所管であったが、返還時には当館の収蔵庫にて適切に保管するため佐賀大学美術館の所管となった。また同年、佐賀市松原にあった旧佐賀商工会館が所蔵していた作品23点をその移転に伴って寄贈を受けた。日本の近代美術史において重要な作家らの作品がこの年に収蔵され、当館の所謂「目玉」ともいえるコレクションとなった。佐賀大学美術館ではこれまでに購入による作品の収集も行っており、またその見直しも立っていないが、近年、作品の寄贈件数は減少傾向にあり、2019年度の寄贈は1件に留まっている。およそ100点展示することのできる作品を収蔵しているが、展覧会とその開催期間に比して、収蔵作品の損傷や健全な保存環境を考慮すると圧倒的にその数は少ないため、当館のコレクションの拡充は急務であると考えざるを得ない状況である。

以上が佐賀大学美術館収集方針と収蔵の現状と言えるが、前節で見てきたポミアンとエルnstの定義からすると、当館のコレクションはいかに捉えることができるのだろうか。当館のコレクションは経済活動(アート市場)の外に保たれ、特別の保護(収蔵庫内での管理)を受け、眼による鑑賞が優先される資料の集合体である。岡田三郎助や海老原喜之助、石本秀雄などの作家の作品を収蔵しているものの、作品はそれぞれ作家の歴史的な脈から切り離され、1作家につき1点から数点の作品がある。当然、当館の収蔵品のみでは作家の事跡を辿ることは不可能であり、作品もそのこと自体を目的に収められたわけではない。当館の収集方針は「佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集」という大きな枠を規定しているが、これまでの作品の受け入れの判断<sup>8</sup>からすると、結果的に佐賀大学教員と佐賀県にゆかりのある作家の作品をその対象としていることがわかる。当館に限らずミュージアムにおいて、エルnstのいう文書処理は寄贈作品の受け入れに伴う台帳や目録の更新や作品の点検によるデータの蓄積で、考古学的処理は、作品の受入時の方針や展覧会等での展示と活用である。後者の考古学的処理によってコレクションは収集され、またこの蓄積によってミュージアムの性質が決定

づけられる。つまりコレクションを母胎として「ミュージアム」は日々更新され続け、方向づけられているとすることができる。これらミュージアムのコレクションの特性を鑑みると、佐賀大学美術館のコレクションも、館の理念を自明にしながら今後の方向性を示すものであるといえるだろう。

#### 4. 終わりに（結び）

日本においてミュージアムは社会教育法の中の博物館法の下、規定、運営されているが、ミュージアムが管理、収蔵する資料や美術作品等のコレクションは文化財保護法の下、護られている。「21世紀の博物館・美術館のあるべき姿」の提言<sup>9</sup>で指摘されているように、ミュージアムとそれが収蔵品として多くを管理する文化財は法律の上で相違し、博物館法では「ハコ」と「ヒト」の定義と制度について、文化財保護法では「モノ」の定義とその扱いについて定めている。海外の例としてスペインおよびスロベニアの博物館法は文化財保護法が前提となっており、そこでは「モノ」が先行してミュージアムが設置されコレクションが館を形成している。これまで見てきたように、ミュージアムにおいて基本的にコレクションは、その館自身を示し今後をも決定づける。佐賀大学美術館は、近隣の博物館や美術館との差別化を図るためにも、大学美術館が収集すべきものについて改めて考える必要がある。私見としてたとえば、当館は現役の教員の作品を収蔵していないが、積極的に教員らと協力し、佐賀大学での美術教育の事跡を残したり、学生の優秀な作品を美術館で永年保存したりすることを検討することは現実的なコレクション形成の1つの方法であると思う。また、美術館収集資料の概念を拡張し、資料アーカイブや展覧会アーカイブなどのデータも大学美術館が収集するコレクションとして構築することも考えられる。そして、このような方針を具体的に明文化した収集規程やそれを専門的に審議する場を設けることは、コレクション形成だけでなく館自体の姿勢を示していくことになる。

佐賀大学美術館の場合、コレクションは極端に少なく、現在のところ作品の収集は個人からの寄贈や学内作品の管理替えて地道に築いていくほかない。しかし、コレクションが少ないからこそ、これからの見通しを立て収集方針を計画的に立てることによって、どの館も直面する収蔵庫に作品が収まらないという問題にも対応する準備ができると思う。

#### 謝辞

本稿は蓄積されてきた当館のコレクションの調査研究の成果の一部です。これまで収蔵品の調査に当たってこられた歴代の学芸員の方々に感謝申し上げます。

また本稿執筆に際し、多大なるご協力とご助言を賜った佐賀大学芸術地域デザイン学部の吉住磨子教授並びに同学部の花田伸一准教授に厚くお礼を申し上げます。

#### 主要参考文献

- K. ポミアン『コレクション趣味と好奇心の歴史人類学』吉田城、吉田典子訳、平凡社、1992年  
西野嘉章『大学博物館』東京大学出版会、1996年  
西野嘉章『二十一世紀博物館』東京大学出版会、2000年  
佐賀大学文化教育学部美術工芸教室『50周年記念誌 佐賀大学 美術・工芸教室50年』佐賀大学、2008年  
S. A. クレイン編『知識の集積/展示の構造学 ミュージアムと記憶』伊藤博昭訳、ありな書房、2009年  
安高啓明『歴史のなかのミュージアム』昭和堂、2014年

- 1 春季展「“特美”の芽吹き-初代教員たちの逸品」は『佐賀大学美術館 平成30年度 年報+紀要』(以下「本書」) 8-9頁を、秋季展「佐賀大学美術の実り」は本書16-17頁参照。
- 2 K. ポミアン『コレクション 趣味と好奇心の歴史人類学』吉田城、吉田典子訳、平凡社、1992年、25頁より引用。
- 3 博物館の定義範囲は国際博物館会議 (ICOM) と日本の博物館法参照。ICOMの規約(2017年版)、「第1項 博物館」における博物館の定義は次の通り。「博物館とは、社会とその発展に貢献するため、有形、無形の人類の遺産とその環境を、教育、研究、楽しみを目的として収集、保存、調査研究、普及、展示する、公衆に開かれた非営利の常設機関である」。日本の博物館法における「歴史」「芸術」「民俗」「産業」「自然科学」等の資料区分を明記せず、国際組織においてはミュージアムの定義は更新されていっている。2節では芸術作品を主な収集対象にする美術館以外のミュージアムのコレクションの範囲も扱う。
- 4 W. エルンスト「ミュージアム学の原-集積-組織構造」大久保譲訳、S. A. クレイン編『知識の集積/展示の構造学ミュージアムと記憶』伊藤博昭監訳、ありな書房、2009年、27-50頁参考。
- 5 本書4頁より引用。なお、この「活動目的」は開館年度の2013年度より現在まで引き継がれている。
- 6 実際、「佐賀大学美術館運営準備室」の会議(2011年12月16日)において、「展示方針」が審議されている。審議の中で、文化教育学部美術・工芸課程の学生、卒業生、教員の作品の展示が、展示方針の第1項目にて掲げられている。
- 7 93点の他、個人より作家の文書資料群も収蔵している。寄贈作品詳細については、当該年度『佐賀大学美術館 年報+紀要』参照。
- 8 佐賀大学美術館への寄贈・寄託の審議は「佐賀大学美術館寄贈・寄託専門委員会」が発足した(2014年10月14日付「第3回佐賀大学美術館運営委員会」にて了承)。当館への芸術資料の寄贈寄託について審議する場で、構成員は佐賀大学美術館館長、副館長、学芸員1名、館長が認めた者(若干名)と定められていた。この専門委員会は2016年3月開催した2015年度「第4回佐賀大学美術館運営委員会」にて解散が決定された。現在の寄贈作品の受入れは佐賀大学美術館館内会議を経て、佐賀大学美術館運営委員会にて審議の上、収蔵が決定されている。
- 9 日本学術会議史学委員会 博物館・美術館の組織運営に関する分科会「21世紀の博物館・美術館のあるべき姿」2017年7月20日参照。

[リスト]

本目録は「日本画」「西洋画」「彫塑」「デザイン」「版画」「窯芸」「金工」「染色」「水彩画」「素描」「資料」で分類し、各作品および資料は受入れ年度順に掲載している。各作品の記載内容と順序は下記のとおり。

収蔵番号

作品名 Title

作家名 Artist (生没年)

制作年 Year of work

形状・材質 Technique & Material

寸法 (cm) Size

受入年度 (寄贈または学内管理替)

J140001

五ひき Five Owls

藤田 隆治 FUJITA, Ryuji (1907-1965)

1961頃 c.1961

紙本着色 Color on paper

96.3×159.3

2014年度受入 (寄贈)



J140002

鯉 Carp

立石 春美

TATEISHI, Harumi (1908-1994)

不明 Unknown

絹本着色 Color on paper

51.5×57.3

2014年度受入 (寄贈)



J150003

裸婦 Nude

岩永 京吉

IWANAGA, Kyokichi (1917-2011)

1963年 1963

紙本着色 Color on paper

136.0×90.0

2015年度受入 (管理替)



O130001

黒土 Black Soil

内山 孝

UCHIYAMA, Takashi (1922-)

1961年 1961

油彩、カンヴァス Oil on canvas

130.3×162.1

2013年度受入 (寄贈)



O140002

トレド Toledo

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1966年 1966

油彩、カンヴァス

130.1×97.0

2014年度受入 (寄贈)



O140003

オーバーの女 Woman Wearing a Coat

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1960年 1960

油彩、カンヴァス Oil on canvas

145.2×97.3

2014年度受入 (寄贈)



O140004

自画像 Self-portrait

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1929年 1929

油彩、カンヴァス Oil on canvas

45.4×37.8

2014年度受入 (寄贈)



O140004

牛 Bull

下川 都一郎

SHIMOKAWA, Toichiro (1914-1989)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

31.8×40.4

2014年度受入 (寄贈)



O140005

カンナの花 Flowers of Canna

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

45.4×37.6

2014年度受入(寄贈)



O140010

本栖高原 Motosu Kogen

北嶋 兵一

KITAJIMA, Hyouchi (1901-1983)

1959年 1959

油彩、カンヴァス Oil on canvas

37.9×45.5

2014年度受入(寄贈)



O140006

銀杏並木秋景 Ginkgo Trees in Autumn

井手 誠一

IDE, Seiichi (1928-1980)

1958年 1958

油彩、カンヴァス Oil on canvas

37.8×45.6

2014年度受入(寄贈)



O140011

あじさい Hydrangea

古瀬 虎麓 KOSE, Koroku

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

41.1×32.1

2014年度受入(寄贈)



O140007

岩と波海原 Coast; Rocks and the Wave

上杉 耕司 UESUGI, Koji

1940年 1940

油彩、カンヴァス Oil on canvas

33.3×45.6

2014年度受入(寄贈)



O140012

阿蘇早春 Early Spring in Mt. Aso

手島 貢

TESHIMA, Mitsugu (1900-1974)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

45.7×60.5

2014年度受入(寄贈)



O140008

パラグアイの農家 Farm House in Paraguay

小野 正人 ONO, Masato

1962年 1962

油彩、カンヴァス Oil on canvas

33.6×45.7

2014年度受入(寄贈)



O140013

雲仙 Mt. Unzen

納富 進

NODOMI, Susumu (1911-1976)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

72.7×91.1

2014年度受入(寄贈)



O140009

金盞花 Calendula

小野 正人 ONO, Masato

1960年 1960

油彩、カンヴァス Oil on canvas

40.9×31.8

2014年度受入(寄贈)



O140014

夏の岬 Cape in Summer; the Ariake

納富 進

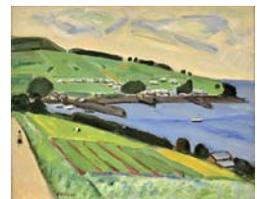
NODOMI, Susumu (1911-1976)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

37.8×45.5

2014年度受入(寄贈)



O140015

麦秋 Early Summer

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

45.5×37.9

2014年度受入 (寄贈)



O140020

西熱海 Nishi Atami

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

31.9×40.9

2014年度受入 (寄贈)



O140016

呼子 (初秋) Yobuko, Harbor in early Autumn

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1956年 1956

油彩、カンヴァス Oil on canvas

24.3×33.3

2014年度受入 (寄贈)



O140021

新緑 Fresh Verdure, Early Summer

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

1963年 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

53.0×45.7

2014年度受入 (寄贈)



O140017

燈火小閑 Moment of Evening lights

宮地 亨

MIYACHI Toru (1909-1997)

1965年 1965

油彩、カンヴァス Oil on canvas

145.5×97.0

2014年度受入 (寄贈)



O140022

ユーカリ樹のある庭 Garden of Eucalyptus Trees

若林 景光

WAKABAYASHI, Kagemitsu

(1908-1994)

1955年 1955

油彩、カンヴァス Oil on canvas

38.1×45.6

2014年度受入 (寄贈)



O140018

壱岐 Iki island

宮地 亨

MIYACHI Toru (1909-1997)

不明 Unknown

油彩、カンヴァスボード

Oil on canvas board

24.2×33.0

2014年度受入 (寄贈)



O140023

川上の風景 Landscape of Kawakami

若林 景光

WAKABAYASHI, Kagemitsu

(1908-1994)

1966年 1966

油彩、カンヴァス Oil on canvas

53.0×45.3

2014年度受入 (寄贈)



O140019

夏の果物 Fruits of the Summer

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

37.8×45.6

2014年度受入 (寄贈)



O140024

商工会館 Chamber of Commerce Building

若林 景光

WAKABAYASHI, Kagemitsu

(1908-1994)

1957年 1957

油彩、カンヴァス Oil on canvas

53.5×65.3

2014年度受入 (寄贈)



O150025

画室にて At Atelier

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1951年 1951

油彩、カンヴァス Oil on canvas

162.8×130.6

2015年度受入(管理替)



O150026

衣を与う Give the Clothes

海老原 喜之助

EBIHARA, Kinosuke (1904-1970)

1956年 1956

油彩、カンヴァス Oil on canvas

80.0×64.8 額92.5×77.3×7.6

2015年度受入(管理替)



O150027

若き娘の顔 Face of the young woman

岡田 三郎助

OKADA, Sabrosuke (1869-1939)

1913年 1913

油彩、カンヴァス Oil on canvas

42.4×34.4

2015年度受入(管理替)



O150028

婦人像 Woman

斎藤 与里

SAITO, Yori (1885-1959)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

90.5×64.5

2015年度受入(管理替)



O150029

須磨初秋 Suma in early Autumn

辻 永

TSUJI, Hisashi (1884-1974)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

41.3×53.2

2015年度受入(管理替)



O150031

入り江の教会(天草、崎津風景)

Church facing the Cove (Landscape of Sakitsu, Amakusa)

深草 廣平

FUKAKUSA, Kouhei (1938-2001)

1980年 1980

油彩、カンヴァス Oil on canvas

130.5×162.5

2015年度受入(管理替)



O150032

婦人像 Woman

深草 廣平

FUKAKUSA, Kouhei (1938-2001)

1989年 1989

油彩、カンヴァス Oil on canvas

162.0×130.5

2015年度受入



O150033

台湾娘 Taiwan Girl

藤島 武二

FUJISHIMA, Takeji (1867-1943)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

40.9×31.5

2015年度受入(管理替)



O150034

若いからだ Young Body

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

50.2×73.2

2015年度受入(寄贈)



O150035

多摩 Tama

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

1948年 1948

油彩、カンヴァス Oil on canvas

145.5×97.7

2015年度受入(寄贈)



O150036

かがみ Mirror

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

1984年 1984

油彩、カンヴァス Oil on canvas

145.6×97.3

2015年度受入 (寄贈)



O160041

扇 A Fan

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1940年 1940

油彩、カンヴァス Oil on canvas

116.6×72.7

2016年度受入 (寄贈)



O150037

ストーブと灰皿 Stove and Ashtray

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

1952年 1952

油彩、カンヴァス Oil on canvas

116.5×91.3

2015年度受入 (寄贈)



O160042

手紙 Letter

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1941 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

116.6×72.7

2016年度受入 (寄贈)



O150038

夏の日 On Summer Day

村岡 平蔵

MURAOKA, Heizo (1912-1995)

1982年 1982

油彩、カンヴァス Oil on canvas

145.5×97.7

2015年度受入 (寄贈)



O160043

モデルとY先生 Model and Mr. Y

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1949年 1949

油彩、カンヴァス Oil on canvas

91×72.7

2016年度受入 (寄贈)



O160039

山麓のK先生 Mr. K at the Foot of the Mountain

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1939年 1939

油彩、キャンバスボード

Oil on canvas board

22.0×27.3

2016年度受入 (寄贈)



O160044

祭りの日 Festival day

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1958年 1958

油彩、カンヴァス Oil on canvas

162×130.3

2016年度受入 (寄贈)



O160040

松島風景 Landscape of Matsushima

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1940年 1940

油彩、板 Oil on panel

22.0×27.3

2016年度受入 (寄贈)



O160045

絵のある部屋 Room with picture

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1958年 1958

油彩、カンヴァス Oil on canvas

145.5×97

2016年度受入 (寄贈)



O160046

ほりばた (公会堂と文化館)

Beside the moat (Public hall and Culture hall)

久富 邦夫

HISATOMI, Kunio (1912-2010)

1951年 1951

油彩、板 Oil on panel

27.8×27.0

2016年度受入 (寄贈)



O160047

久富君像 Portrait of Mr. Hisatomi

太宰 治

DAZAI, Osamu (1909-1948)

不明 Unknown

油彩、キャンバスボード

Oil on canvas board

18.0×14.0

2016年度受入 (寄贈)



O160048

五部浄像 Guardian of Buddhism

榎崎 重視

NARAZAKI, Shigemi (1927-)

1983年 1983

油彩、カンヴァス Oil on canvas

53.0×45.5

2016年度受入 (寄贈)



O180049

新緑の中央公園 The Central Park of Fresh Green

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

不明 Unknown

油彩、カンヴァス Oil on canvas

22.0×33.3

2018年度受入 (寄贈)



O180050

風景 Landscape

筒井 茂雄

TSUTSUI, Shigeo (1911-1990)

1939年 1939

油彩、カンヴァス Oil on canvas

73.2×91.0

2018年度受入 (管理替)



S140001

雷 Lightning

成富 宏

NARITOMI, Hiromu (1941-)

2004年 2004

ブロンズ Bronze

H146.0×W65.0×D80.0

2014年度受入 (管理替)



S150002

無題 Untitled

山本 民二 YAMAMOTO, Tamiji (1919-2008)

1979年 1979

FRP FRP

H46.5×W40.0×D26.1

2015年度受入 (管理替)

S150003

男の顔 Face of the Man

古賀 忠雄

KOGA, Tadao (1903-1979)

1947-48年頃 c.1947-48

ブロンズ Bronze

H60.0×W22.0×D29.0

2015年度受入 (管理替)



S150004

男の顔 Face of the Man

古賀 忠雄

KOGA, Tadao (1903-1979)

不明 Unknown

石膏 Plaster

H70.4×W22.6×D27.7

2015年度受入 (管理替)



S150005

暦年 Year After Year

山本 民二

YAMAMOTO, Tamiji (1919-2008)

不明 Unknown

石膏 Plaster

H117.5×W43.0×D26.7

2015年度受入 (管理替)



S150006

人物 Person Figure

安永 良徳

YASUNAGA, Yoshinori (1902-1970)

不明 Unknown

ブロンズ Bronze

H30.0×W9.7×D9.0

2015年度受入(管理替)



S160007

夏折々 Every Summer

緒方 敏雄

OGATA, Toshio (1906-1995)

1984年 1984

FRP FRP

H173×W58.3×D41.4

2016年度受入(寄贈)



S160008

夏・一章 Summer; Chapter 1

緒方 敏雄

OGATA, Toshio (1906-1995)

1985年 1985

FRP FRP

H173.5×W53.0×D42.5

2016年度受入(寄贈)



S160009

女性立像 Statue of Lady

緒方 敏雄

OGATA, Toshio (1906-1995)

不明 Unknown

FRP FRP

H132.6×W45.3×D26.9

2016年度受入(寄贈)



D180001

構成2 Composition 2

佐口 七朗

SAGUCHI, Shichiro (1918-1993)

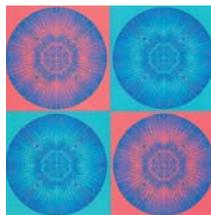
1985年 1985

シルクスクリーン、ケント紙

Silk screen on silk screen

50.0×50.0

2018年度受入(寄贈)



D180002

球体による構成-589 Composition of Ball; 589

佐口 七朗

SAGUCHI, Shichiro (1918-1993)

1986年 1986

コンピューターグラフィック、銀塩ラム

ダ出力 CG, Lambda print

40.0×40.0

2018年度受入(寄贈)



P150001

本を焼く人 Book Burning Man

海老原 喜之助

EBIHARA, Kinosuke (1904-1970)

1956年 1956

リトグラフ、紙 Lithograph, paper

64.1×45.4

2015年度受入



P150002

蝶(空の蝶) Butterfly

海老原 喜之助

EBIHARA, Kinosuke (1904-1970)

1956年 1956

リトグラフ、紙 Lithograph, paper

64.1×45.4

2015年度受入(管理替)



P150003

記念碑的像 Monumental Image

海老原 喜之助

EBIHARA, Kinosuke (1904-1970)

1956年 1956

リトグラフ、紙 Lithograph, paper

64.0×45.2

2015年度受入(管理替)



C130001

深層 Deep Layer

宮尾 正隆 MIYAO, Masataka (1938-)

2011年 2011

磁器 Porcelain

H39.0×45.0

2013年度受入(寄贈)

C150002

萌黄釉角壺 Square Vase with Light Yellowish Green Glaze

瀧 一夫

TAKI, Kazuo (1910-1971)

1967年 1967

陶器 Pottery

H37.0×25.0×25.0

2015年度受入(管理替)



C150003

伊羅保壺 Warty Vase

瀧 一夫

TAKI, Kazuo (1910-1971)

不明 Unknown

陶器 Pottery

H31.3×22.5

2015年度受入(管理替)



C150004

緑釉壺 Vase with Green Glaze

瀧 一夫

TAKI, Kazuo (1910-1971)

不明 Unknown

陶器 Pottery

H22.0×22.0

2015年度受入(管理替)



M150001

青銅花器 Casting Copper Bottle

豊田 勝秋

TOYOTA, Katsuaki (1897-1972)

1966年 1966

鑄造壺(青銅) Bronze

H32.7×24.3

2015年度受入(管理替)



M170002

鑄銅花器 Casting Copper Vase

中牟田 佳彰 NAKAMUTA, Yoshiaki (1936-1994)

1976年 1976

ブロンズ Bronze

H30.0×W24.0×D20.0

2017年度受入(寄贈)

M170003

鑄銅花器 Casting Copper Basin Marked with Rope

中牟田 佳彰 NAKAMUTA, Yoshiaki (1936-1994)

1985年 1985

ブロンズ Bronze

H7.5×W42.5×D36.0

2017年度受入(寄贈)

M170004

鑄銅花器 Casting Copper Vase

中牟田 佳彰

NAKAMUTA, Yoshiaki (1936-1994)

1988年 1988

ブロンズ Bronze

H30.0×W25.0×D20.0

2017年度受入(寄贈)



T150001

豊 Fertility

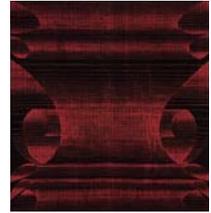
城 秀男 JO, Hideo (1911-2010)

1967年 1967

染色 Cloth panel with dyeing

144.0×81.0

2015年度受入(寄贈)



T150002

妖異な円 Weird Circle

城 秀男 JO, Hideo (1911-2010)

1974年 1974

染色 Cloth panel with dyeing

185.0×160.0

2015年度受入(寄贈)



T150003

不知火の有明 Mysterious Lights on the Sea, Ariake

小川 泰彦

OGAWA, Yasuhiko (1927-)

1978年 1978

染色 Cloth panel with dyeing

170.0×140.0

2015年度受入(寄贈)



T170004

解ける Unknot

田中 嘉生

TANAKA, Yoshio (1951-)

1982年 1982

染色 Cloth panel with dyeing

180.0×180.0

2017年度受入 (寄贈)



A170004

清冽 (くじゃくさぼてん) Serene (Epiphyllum)

田中 宗一

TANAKA, Soichi (1888-1977)

1966年 1966

水彩、紙 Watercolor on paper

71.0×53.5

2017年度受入 (寄贈)



T170005

卯月の頃Ⅱ Casting Copper Vase II

田中 嘉生

TANAKA, Yoshio (1951-)

2014年 2014

染色 Cloth panel with dyeing

180.0×125.0

2017年度受入 (寄贈)



A170005

牡丹 Peony

田中 宗一

TANAKA, Soichi (1888-1977)

1969年 1969

水彩、紙 Watercolor on paper

36.7×48.3

2017年度受入 (寄贈)



A140001

古湯雄渕 Obuch in Furuyu

田中 宗一

TANAKA, Soichi (1888-1977)

1961年 1961

水彩、紙 Watercolor on paper

34.0×46.0

2014年度受入 (寄贈)



A170006

紅葉 Autumn Leaves

田中 宗一

TANAKA, Soichi (1888-1977)

1970年 1970

水彩、紙 Watercolor on paper

36.8×48.5

2017年度受入 (寄贈)



A150002

H嬢像 Portrait of Miss H.

中西 利雄

NAKANISHI, Toshio (1900-1948)

1943年 1943

水彩、紙 Watercolor on paper

60.4×48.2

2015年度受入 (管理替)



E140001

パリのモデル Model in Paris

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1964年 1964

コンテ、紙 (灰色) Conte on paper

44.7×30.6

2014年度受入 (寄贈)



A170003

古湯の岩渕 (熊の川溪谷)

Iwabuchi in Furuyu (Valley of Kumanogawa)

田中 宗一 TANAKA, Soichi (1888-1977)

1964年 1964

水彩、紙 Watercolor on paper

54.0×72.0

2017年度受入

E140002

手鏡の女 Woman with a Mirror

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1963年 1963

鉛筆、紙 Pencil on paper

25.9×18.3

2014年度受入 (寄贈)



E140003

橙と卓上の静物 Still Life on the Table

石本 秀雄

ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1963年 1963

鉛筆、紙 Pencil on paper

25.9×18.0

2014年度受入(寄贈)



---

E150005

人物 Person

海老原 喜之助

EBIHARA, Kinosuke (1904-1970)

不明 Unknown

ペン、紙 Pen on paper

58.5×49.0

2015年度受入(管理替)



---

R140001

スケッチブック Sketch Book

石本 秀雄 ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1928-31年 1928-31

鉛筆、水彩、紙 Pencil, Watercolor, Paper

18.6×12.8×2.3

2014年度受入(寄贈)

---

R140002

自筆ノート(西洋美術史)

Notebooks: Lecture and Art of Europe

石本 秀雄 ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1949年頃 c. 1949

鉛筆、紙 Pencil, Paper

25.8×18.2

2014年度受入(寄贈)

---

R140003

自筆ノート(講演) Notebooks

石本 秀雄 ISHIMOTO, Hideo (1908-1986)

1949年頃 c. 1949

鉛筆、紙 Pencil, Paper

25.8×18.2

2014年度受入(寄贈)

---



佐賀大学美術館  
**平成30年度**  
年報＋紀要



2019年11月30日発行

発行 佐賀大学美術館 ©2019

佐賀市本庄町1番地

企画・編集 出口智佳子＋香月比呂＋蒲原文子  
＋鬼塚美津子＋今村真由美＋枝國武司 (佐賀大学美術館)

写真 廣木昭則 (佐賀大学美術館)

印刷 株式会社 昭和堂

※本書の仕様は、「平成25年度年報＋紀要」(デザイン:佐賀大学文化教育学部 荒木博申教授)を踏襲した。

佐賀大学美術館



THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM